

令和 5 年 度

自 令和 5 年 4 月 1 日から
至 令和 6 年 3 月 3 1 日まで

事 業 報 告 書 (案)

玉 島 商 工 会 議 所

2024. 6. 25

令和5年度 事業報告書

1	総括的概要	1
2	事業	2
	(1) 各種事業活動	2
	(2) 意見活動	6
	(3) 広報	15
	(4) 証明・鑑定・検査	15
	(5) 信用調査	15
	(6) 技術技能の普及検定	15
	A 検定	15
	(7) 取引紛争のあっせん, 調停、仲裁	15
	(8) 経営改善普及事業	16
	A 巡回窓口相談事業	16
	B 講習会開催状況	17
	C 個別指導による指導状況	17
	D 金融のあっせん	17
	E 記帳継続指導	17
	F 労働保険等の事務代行	18
	(9) 共済事業	18
3	事項別状況	19
	1. 定款および規約等	19
	(1) 定款	19
	(2) 規約	19
	2. 組織	19
	(1) 会員	19
	A 会員数	19
	B 部会	20
	C 委員会	21
	(2) 特別会員	21
	(3) 特定商工業者	21
	(4) 役員	21
	(5) 議員	22

(6) 部会長等	25
(7) 特別顧問・委員長等	26
(8) 顧問・参与	27
4 事務局	28
(1) 事務局の機構	28
(2) 事務局職員	28
5 庶務	28
(1) 文書	28
(2) 表彰受賞	28
(3) 慶弔	28
6 会議	29
(1) 議員総会	29
(2) 常議員会	30
(3) 正副会頭会議	31
(4) 委員会・部会等	31
(5) 県内等主要会議	35
7 登録	36
(1) 法定台帳	36
(2) 任意台帳	36
8 会館・事務所等	37
(1) 土地	37
(2) 建物	37
9 関係団体への加入および連繋	37
10 外郭団体一覧	37

1 総 括 的 概 要

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

令和5年度においては、新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、経済活動はコロナ前に戻りつつありました。しかし業績がコロナ前に戻っていない企業が多い中、融資の返済に加え原材料費や光熱費の高騰、人手不足が経営にダメージを与える状況が続きました。過度な円安の状態も続いており、日銀がマイナス金利を解除したことにより市場金利が上昇傾向にあることから、中小・小規模事業者にとって今後金利負担が増す懸念も出て参りました。また物流業界を中心とした2024年問題による影響があらゆる業種に亘って及んでおり、物流全体の流れは今後大きく変化すると思われます。このような状況下において玉島商工会議所は、会員企業様の事業伴走支援に取り組んで参りました。令和5年度においても「コロナショック」の影響を受けた事業者の方々の事業継続・再起に向けた支援を行いました。またデジタル化への対応支援、資金繰り・金融支援、また創業支援や円滑な事業承継支援にも注力して参りました。商工会議所の最大の使命である事業者の活力強化及び地域経済の活性化に引き続き尽力し、これからも経営支援体制の強化に努めて参ります。

さて、令和5年4月には作陽学園高等学校が玉島へ移転開校致しました。少子高齢化が進む中、玉島の地に新たに学校が増えたことは地域にとって明るい材料でした。この機会を逃すことなく既存の高校は勿論の事、作陽学園高校との連携深化にも努めて参りました。

そして「音楽溢れる街たましま」として、昨年4月に玉島にとって永年の念願であった「ストリートピアノ」を新倉敷駅へ設置することができました。昨年度は駅ピアノを利用して約30回のミニコンサートを開催し、普段でも新倉敷駅構内でピアノの音を聴くことができるまで定着しました。また5年ぶりに「湊たましま大歌声喫茶」を開催致しました。そして「玉島まつり」「ハーバーフェスティバル」「玉島ふれあい物産展」といった大きなイベントも予定通り開催し集客に努めることができました。

加えて、秋にはコロナ禍で先送りになっていました「玉島商工会議所創立80周年記念式典」を岡山県知事や倉敷市長をお迎えし盛大に執り行うことができました。また関連事業としてモニュメントの設置や記念誌の発行も併せて行うことができました。

結びになりますが、世界各地で勃発している紛争は日本経済へ深刻な影響を及ぼしています。商工会議所は引き続き事業者皆さんに寄り添った伴走支援を行って参ります。地域の活性化、発展のため商工会議所が先頭に立ち、「活気ある街たましま」を目指して参ります。

2 事 業

(1) 各種事業活動

A. 新倉敷駅ピアノ設置

令和5年4月13日(木)にJR新倉敷駅にて駅ピアノ設置協定締結式を行い、同日ピアノを新倉敷駅に設置した。駅ピアノの設置は倉敷市では初となる。

駅ピアノの管理運営は新倉敷駅ピアノ実行委員会(事務局:玉島商工会議所内)が行い、プリマベラ・コンチエルト、くらしき作陽大学などにご協力を頂きながら音楽文化の振興を図った。

月1回程度、実行員会で企画した演奏会を実施し普及啓蒙しており、現在では、地域の方や新倉敷駅を利用される方など多くの方がピアノの演奏を行っている。



B. 溜川清掃活動

環境・エネルギー委員会主幹で団体所属メンバー、企業、市民の方々が溜川をきれいにし、玉島地区市民の憩いの場にしようと清掃活動を行った。

春秋ともに好天に恵まれたことで、地元企業、近隣住人や学生など多くの方が参加した。

1. 日 時 春: 令和5年4月14日(日)
秋: 令和5年11月5日(日)
8時00分～9時30分
2. 場 所 溜川周辺
3. 参加者 春: 約750人 秋: 約850人



C. 「小さな改善で大きく変える！ICT 技術を活用した生産性向上への実践セミナー」

講師: 池田 努 氏

(岡山県よろず支援拠点コーディネータ・中小企業診断士)
DXの現状、技術革新により加速する環境変化、チャットGPTの活用方法など、実例を交えて講話いただいた。

1. 日 時: 令和5年6月22日(木) 15時00分
2. 会 場: 玉島商工会議所 3階会議室
3. 参加者: デジタル化推進委員会委員など10名



D. 株式会社ワークスマイルラボ オフィス視察

デジタル化・DX化が浸透しているオフィスを実際に見て体感することで、自社の課題解決の方法を見つけることを目的として、視察研修を実施した。

1. 日 時: 令和5年7月 7日(金) 13時30分
2. 会 場: 株式会社ワークスマイルラボ オフィス
(岡山市南区福浜町15-10)
3. 参加者: デジタル化推進委員会委員、
玉島商工会議所職員など12名



E. 環境改善普及活動（エコグッズ配布）

環境・エネルギー委員会では、環境問題について考えるきっかけにしておらうと来館者に対し、ペットボトルを再生したポリエステルのエコバッグの無料配布を行った。

1. 事業期間 令和5年7月19日～8月18日
2. 作成枚数 600枚



F. 80周年モニュメント除幕式

令和5年9月24日（日）玉島港橋広場において除幕式を行った。約2年の月日を費やしたが、無事設置する事ができた。かつて北前船寄港地として名を馳せた「玉島の湊」にモニュメントを置くことができ、今後は新たな「名所」となるよう尽力していく。



G. 第9回玉島ハーバーフェスティバル

海上自衛隊の掃海艇「つのしま」展示をはじめ防衛省自衛隊、玉島警察署、倉敷市消防局、水島海上保安部、水島海事事務所の車輛等展示・各種体験ブースや、会員事業所中心に真備船穂商工会や高梁川流域内高梁商工会議所の管内事業者にも出店していただき、自社製品及び取扱い商品の展示、販売を行なった。また日本遺産の展示ブースを設置し、倉敷市、笠岡市の備中地域の日本遺産の紹介を各市の日本遺産推進室等で行っていただいた。

また新たな試みとして玉島E地区の魅力発信のために、玉島ハーバーアイランドの企業に企業ブースを出して好評であった。

1. 日時 令和5年9月30日（土）・10月1日（日）
10時00分～16時00分
入港歓迎式典: 令和5年9月29日（金） 17時～
2. 場所 水島港玉島地区4号埠頭 特設会場
3. 来場者 約13,000名（内乗艦者数 約2,400名） 30日4,800人 1日8,200人



H. 玉島商工会議所 創立80周年記念式典

令和5年10月10日（火）国民宿舎良寛荘において式典及び祝宴を開催。式典では岡山県知事、倉敷市長をはじめ、商工会議所役員議員に出席いただき歴代会頭への感謝状贈呈や記念映像鑑賞を実施。盛会の内に終了した。



I. 第34回玉島ふれあい物産展の開催

玉島地区工業製品を展示し、広く紹介、宣伝することによりマーケティングの強化を計り、産業の活性化と地域の活力化を目的に、倉敷市商工業活性化イベント推進事業として物産展を実施した。今回は当日39社の出展協力をいただき、時折雨が降る天候であったが多くの人手で終日賑わった。

1. 日 時 令和5年11月12日(日)
午前9時00分～午後3時30分
2. 会 場 玉島市民交流センター
3. 来場者 約12,000人



J. Tamashima Innovation Meeting

(タマシマ イノベーション ミーティング)

玉島地域と企業の未来を考える会として令和3年度より開催。令和5年度より、高校・大学と連携し、玉島を「住みたい街」としてブランディングを行う活動を実施。長期的取組みとして今後のまちづくり活動につなげていくため、今の玉島の課題を抽出するためのアンケートを行い、分析を行った。また、玉島の魅力ある資源である「みなと湯」と「羽黒会館」を活用して、高校生企画のイベントを開催。観光で訪れる人だけでなく運営側の高校生にとっても地元の魅力に触れる機会を創出した。

○「みなと湯」「羽黒会館」を活用したイベント

1. 日 時 令和5年11月12日(日) 9:00～12:00
2. 内 容 ①セルフ写真館 in 羽黒会館(県立玉島高校)
②生ライブ演奏 in 羽黒会館(作陽学園高校)
③謎解き宝探し in みなと湯(県立玉島商業高校)
3. 備 考 イベント来場者に対し玉島の住みやすさに関するアンケート調査を実施



K. 第66回優良商工従業員表彰式

商工業の振興を期するため、同一事業所に10年以上勤続し、商工業の振興上特に優良と認める商工従業員を表彰した。今年度は75名が表彰され表彰状と記念品が授与された。

1. 日 時 令和5年11月21日(火)
2. 会 場 玉島市民交流センター湊ホール
3. 被表彰者 75名



L. ゼロカーボンアクション30ステッカー配布

環境・エネルギー委員会では、環境改善啓蒙活動の一環として『ゼロカーボンアクション30ステッカー』を作成し、会員事業所へ配布を行った。

1. 事業時期 令和6年1月初旬
2. 作成枚数 950枚



M. 令和6年能登半島地震災害義援金募集

能登半島地震にて甚大な被害を受けた地域の復興を目的に、会員事業所の皆様から篤志を募った。集まった義援金は日本商工会議所を通じ被災地復興のため役立てられた。

寄付金額： 89件事業者 2,080,000円

N. 産業観光ツアーの実施

当所と倉敷市、児島商工会議所、倉敷観光コンベンションビューローと共同で組織している産業観光ツアー連携委員会にて地域の活性化と商工業の振興を目的に産業観光ツアーを開催した。

玉島地区と児島地区の企業見学を中心に、高梁川流域、瀬戸内海海岸エリアおよび島めぐりなど、産業観光を軸にした広域連携を推進し、各コース定員数の申し込みとなった。



開催日	コース名	参加人数
令和6年3月1日	卓越のワザと心にふれる、真備・玉島連携コース	25名
令和6年3月8日	ぐるっと探訪！唐琴・児島・下津井の伝統産業と手作り体験	25名
令和6年3月15日	玉島の伝統産業と先進の玉島ハーバーアイランド見学	25名
令和6年3月30日	今年は松島へ初上陸!!早春の瀬戸内海3島めぐりクルーズ	35名

O. 湊たましま大歌声喫茶

音楽溢れる街たましま実行委員会では、商業活動の中に音楽を取り入れ、「個性溢れた街の創出と商業の活性化」を目的に歌声喫茶を中心とした各種音楽イベントに取り組んだ。集大成として東京新宿の歌声喫茶ともしび・ベイビーブーを招き、約5年ぶりに湊たましま大歌声喫茶を開催した。また玉島の物産販売コーナーも開催し好評であった。

1. 日時：令和6年3月10日（日）
13時00分～15時40分
2. 会場：玉島文化センター
3. 来場者：約400人



P. 元気です！商工会議所

開かれた商工会議所を目指し、玉島テレビ放送ご協力のもと玉テレニュース内で「元気です！商工会議所」コーナーを放送。商工業者以外の方にも商工会議所の業務内容やイベントを紹介し、情報発信に努めた。

1. 放送日：毎月第3金曜日（年間12回放送）



その他各種行事

- R5. 8. 5 第72回玉島まつり（於 新倉敷駅前）
- R6. 1. 5 新年互礼会（於 玉島商工会議所）
3. 5 第42回会員親睦ゴルフ大会（於 吉備カントリークラブ）

(2) 意見活動

◆件 名：岡山県予算編成に関する要望

要望先：自由民主党岡山県支部連合会、自由民主党岡山県議団

要望日：令和5年11月15日(水)

要望者：岡山県商工会議所連合会、他関係団体と合同

令和6年度岡山県予算編成にあたり、下記の事項について重点的に推進されるよう要望いたします。

I. 景気、中小企業・小規模事業者対策に関する要望

日本銀行の令和5年11月の岡山県金融経済月報では、「県内景気は、海外経済の回復ペース鈍化等の影響を受けつつも、ペントアップ需要の顕在化等に支えられて、緩やかな回復が続けている」、「個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、人流が活発化するもとの飲食・旅行等のサービス分野を中心に増加している」、「企業の業況感が改善するもとの設備投資は増加している」、そして、「県内主要製造業の生産は、海外経済の回復ペース鈍化の影響を受けつつも、供給制約の影響が和らぐもとの、横ばい圏内の動きとなっている」としている。

また、一般社団法人岡山県商工会議所連合会では、令和5年7～9月期の岡山県の景気観測調査では、「前年同期(令和4年7～9月期)と比較した「好転」から「悪化」を差し引いた総合DI値は前期に比べ3.8ポイント上昇し、3期連続の改善」としており、サービス業でプラス幅が拡大したほか、製造業、建設業、卸売業、小売業でもマイナス幅が縮小し、全業種で改善。経済活動が引き続き拡大していることにより採算が改善し、景況感が上向いたものと見られている。また、物価高で心配される販売価格については、小売業において上昇が顕著で、川下への価格転嫁の動きが一定程度認められるが、建設業などでは人手不足が深刻化していることから失注の恐れがあるなど、今後の景気拡大に向けて懸念材料もあり、今後の動向を注視していく必要があると考えられている。

現在は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行以来、行動制限が一気に緩和され、人流の増加、なかでも顕著なインバウンドなどにより経済活動が活発化、確実な景気拡大が期待される基調でありながらも、米中対立などによる地政学リスク、深刻さを増す中国経済の減速、そしてロシアのウクライナ軍事侵攻の長期化に加え、イスラエル・ガザ戦争の勃発など、国際情勢は一層混迷を深めていることから、いつマイナスに転じてもおかしくない状況にある。また、長らく続いたデフレ経済からの脱却、改善が見られる一方で、原材料、エネルギー、そして2024年問題を控えた物流コストなどの高騰により、実質賃金が物価高に追いついていない状態にあり、賃金と物価の好循環は見いだせないままである。

我が国は、少子高齢化、人口減少による人手不足という負のスパイラルからの早期改善が見込めないなか、生産性向上、高付加価値化など、人材のリスクリングによって、新事業展開等業態転換やDX・GXなどのイノベーションによる社会構造の転換を促進するなど、新しい時代を見据えた取り組みを加速しなければならず、政府においては、11月2日に新たな経済対策を閣議決定して、国として、日本経済を賃金と物価が好循環する「新たなステージ」に移行させるべく、準備が進められている。

こうしたなか、経済6団体では、それぞれの経済団体が、各地域、業界・業種、雇用・労使問題、人材育成、さらには地域課題などに対し、縦糸と横糸を張り巡らせるべく支援・連携体制の強化を図り、地域経済を支える中小企業・小規模事業者とともに活力ある明るい持続可能な地域経済社会実現の期待に応えることができるよう、県として次のような施策を講じられたい。

1. 人件費、原材料・エネルギー・物流コスト等の高騰対策の強化について

- (1) 政府の進める経済対策と歩調をあわせた、物価高対策や持続的成長促進策の実施
- (2) 原材料・人件費等の高騰の中、価格交渉力の弱い中小企業・小規模事業者において、円滑な価格転嫁が可能となるよう、パートナーシップ構築宣言等の周知や、国主導による元請け下請けの共存共栄を図る制度構築の推進
- (3) 県自らの支出である公共工事や物品・サービスの調達などにおいて、適切な価格転嫁を実施する措置と、県委託事業や補助事業において、適正な単価反映による積算により、理由のない増額抑制を行わない配慮措置

- (4) 中小企業・小規模事業者に対するエネルギー価格高騰に関する補助金
- (5) 国の支援対象となっていない特別高圧やLPガスを利用する中小企業・小規模事業者への支援期間の延長
- (6) 原油・原材料価格の高騰下においても、自動車をはじめとした基幹産業を支える地域の企業が、協同組合などの連携力を発揮して取り組む受注確保や経営力強化の取り組みに対する支援のほか、環境対応のため新技術開発や、新分野・異分野進出のための設備導入等に対する支援の継続
- (7) 過度な円安、小麦や食用油の価格高騰、原油高による包装資材や容器、物流コストの上昇などの影響を受け価格転嫁が難しい事業者に対する支援やサプライチェーンに対する支援措置

2. ウィズコロナ・アフターコロナ対策について

- (1) ウィズコロナ・アフターコロナの経済の再生を優先するための新型コロナ対策予算の継続・拡充
- (2) 中小企業・小規模事業者が行う新しい生活様式への取り組みや事業転換に対する使い勝手のよい補助金の創設や国の補助金に対する上乗せ支援
- (3) コロナ禍で販路開拓を目的としたイベントの中止、縮小、延期等により、メーカーやバイヤーとの商談の機会を失った事業者に対するウィズコロナ・アフターコロナ時代の国内外販路開拓支援
- (4) コロナ禍により令和2年に借入した事業者の追加融資は厳しい状況にあることから、保証料や利子補給、返済猶予や既往債務の条件変更等の柔軟な支援
- (5) コロナ禍を教訓に「企業移転と移住の促進」を図る受け入れ環境の整備
- (6) コロナ禍以来、積極果敢に海外展開に挑戦する事業者に対するIT設備導入や人材確保に対する支援
- (7) コロナ禍によって深刻な影響を受けた地域経済を回復し雇用の維持を図るためには、中小企業・小規模事業者に対する支援を強力に推進していくことが必要不可欠であることから、中小企業・小規模事業者支援に対する継続的かつ十分な予算確保
- (8) 長引くコロナ禍において低下した消費意欲を喚起するような付加価値のあるクーポンの発行やキャッシュレス決済時のポイント付与への支援や需要拡大に向けた取り組み支援

3. 中小企業・小規模事業者振興施策の充実について

- (1) 「中小企業連携組織対策事業費」の継続と単価反映
- (2) 生産性向上及び付加価値向上に取り組む企業を支援し、改善モデル企業について組合を通じて横展開などを図り、業界全体の活性化を目的として実施する「サービス産業生産性向上支援事業」について、支援の継続と事業内容の充実
- (3) 中小企業・小規模事業者は、人手不足や高齢化のほか、DXやGXへの取り組み、働き方改革への対応など、多様化する難題・課題に直面しているが、これらの課題に係る相談に、迅速かつ適切に対応するためには、小規模事業者に寄り添って伴走型支援を行う人員や職員の資質向上が不可欠であることから、引き続き必要な予算の確保
- (4) 廃業が増大すると予測されている中小企業・小規模事業者（特に後継者のいない高齢経営者）のためのM&Aマッチングなど円滑な事業承継に対する各種支援
- (5) 原油・原材料高の影響を受けている中小企業を対象として実施している「省エネ設備更新に関する補助事業」について、今後の経済や社会情勢のなかで、更なるエネルギー価格対策が必要となった場合の追加予算措置や、着実な温暖化防止対策を進める上での、今回補助に代わる更新インセンティブの創出
- (6) 廃業の増加による雇用喪失などは地域経済の疲弊を招くことにつながるため、地域で事業を残すことは地域における雇用地域経済の活力維持・向上に重要であることから、機械・設備等の有形資産とともに、技術・ノウハウ・人脈等の無形資産を次の世代に引き継いでいく事業承継への様々な支援
- (7) 中小企業・小規模事業者にとって最低賃金の引上げは、経営に大きな影響があるが、事業の持続的発展に資する取り組みを行い、加えて賃上げを実施する事業者を支援するための

助成金・補助金等の支援策拡充とともに、今後急激な最低賃金額アップが行われないよう、地域の実状を踏まえた国等への働きかけ

- (8) 原材料・エネルギー価格高騰、最低賃金引上げ、インボイス制度導入などの事業環境変化に対する支援
- (9) 新たな取り組みを行う企業が、経営革新の認定を受けた際の事業支援（認定事業所向けの補助金等）

4. 中山間地域の施策の充実について

人口減少や少子高齢化が加速する中山間地域において、地域経済や生活環境を持続させることは、切実な地域課題となっている。中小企業・小規模事業者が事業を通じて地域課題の解決に取り組み、地域経済の活性化や生活環境の持続的発展に貢献していくための支援施策について、一層の充実をお願いしたい。

5. 国内外の販路展開支援について

- (1) 食品関連事業者の総合相談窓口である「岡山フードバレーセンター」を活用した首都圏や関西圏等での商談会の開催・運営や、魅力ある県産農産物生産者と食品加工事業者、販売事業者等との円滑なマッチング等の継続支援
- (2) ポストコロナ期において経済活動の再活性化を目指す小規模事業者にとって、販売機会の創出とそのチャンスを有効に活用し売上向上を図ることが喫緊の経営課題となっているが、販売機会の獲得に繋がる商品開発・販売機会の創出に資する事業に対する予算確保
- (3) 岡山県産農産物を活用した加工食品や、地場産業である繊維ならびに伝統的工芸品である備前焼等の関連組合が行う地域のブランド化に対する支援策の継続・拡充
- (4) 地域の経済・雇用・生活を支える中小企業・小規模事業者等が、ポストコロナ時代に対応し事業発展・継続を図るため、デジタル技術を活用し製造者等が消費者に直接販売や情報発信が出来るネットショップ等の構築・運用を支援する制度の創設
- (5) 地域の資源・技術を活用した特産品の普及を後押しするため、商品開発・改良を支援する事業に対する予算拡充
- (6) 国内外における販路開拓におけるジェトロなどと連携したサポートの継続支援
- (7) 中小企業・小規模事業者の販路開拓の取り組みへの支援として、より気軽にテストできる販売の場の提供

6. 金融施策の充実について

ゼロゼロ融資返済開始が本格化するなか、返済負担だけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響による体力低下、物価・エネルギー価格の高騰、人手不足や最低賃金の引上げ等、県内中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しく、今後も追加資金や返済緩和等の資金繰りを中心とした支援ニーズは増加することが見込まれることから、専門家派遣等による経営改善計画策定等による経営安定支援の強化に必要な措置や融資制度（据置期間の延長など）の継続・拡充をお願いしたい。

7. 女性経営者・若手経営者・後継者等の育成について

- (1) 女性経営者・若手経営者等を対象としたビジネス連携や経営力強化を支援すべく、働き方改革や人材確保等に向けた女性経営塾の開催や事業承継を見据えた後継者育成支援、ビジネス交流懇談会及び組織化に対する支援策等の拡充
- (2) 地域にとって住民の雇用先確保や地域経済の活力維持・向上を図るためには、その地域の中小企業・小規模事業者が事業を継続し、その地域に必要な企業を次の世代に引き継いで行くことが重要であることから、地域生活網の維持や雇用創出を実現するための円滑な事業承継やM&Aによる第三者への事業承継支援と事業継続の要となる後継人材の育成等に資する取り組みについて、積極的かつ継続的な支援
- (3) コロナ禍や自然災害など多様化する地域課題に適応し、地域及び地域商工業の持続性向上

において重要な役割を果たすべく、若手経営者や後継者を次世代のリーダーとして育成し成長を支援するための取り組みに対する継続的な予算の確保

- (4) 地域経済の持続的発展を実現するためには、新たなビジネスアイデアや地域の課題を解決する革新的な事業を展開する新規創業者の活躍が不可欠となることから、人口減少問題の克服など県経済の安定化及び活性化を図るために、円滑な起業の支援に必要な予算の確保・更なる支援

8. デジタル化・DX推進について

- (1) 原材料・エネルギー価格高騰や人手不足等の事業環境の変化における課題への対応は、DX推進による生産性向上の取り組みは不可欠であることから、中小企業・小規模事業者のDX推進を支援するための専門家を支援機関への配置し、ITの利活用等の支援に資する体制整備のための予算、設備投資や技術・ノウハウの習得に向けた支援、専門人材の派遣や人材育成に関する助成措置の拡充
- (2) 同業種ごとに特化したDX化事例の拡充及び、DX化導入を後押しできる経営指導員の育成を支援する「業種別デジタル化推進モデル支援事業」の拡充
- (3) 非対面販売・接客が加速するとともに、ペーパーレスやオンラインを活用したビジネスへのシフトは不可避となっていることなど、業態転換やデジタル化等「ビジネスモデル変革」に取り組む事業者への設備導入・技術指導等に係る費用の助成措置の拡充
- (4) 労働生産性向上を狙いにリモートワークやWeb会議等の働き方改革の推進に向けたデジタル機器などの設備投資、デジタル人材の確保・育成への助成措置の拡充、同業種内での活用促進支援
- (5) 中小企業・小規模事業者のDX・GX推進のための補助制度の創設（1件100万円上限）

II. 雇用対策に関する要望

今年5月、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、社会・経済活動が正常に戻り始めた。直近9月の全国の有効求人倍率は3カ月連続して1.29倍と横ばいで推移し、雇用情勢は求人が底堅く推移しており、緩やかに持ち直している。

岡山県の有効求人倍率は1.58倍で全国3位の高い倍率となった。新規求人数は卸売り、小売り、宿泊、飲食サービス業を中心に伸び、前年同月比1.1%増、2カ月連続して増加している。新規求職者数も同じく1.2%増、2か月ぶりの増加となっている。

また、来年3月の学卒求人状況を見ると、高校生（9月末現在）の求人数は、7,787人で前年同期比8.5%増加し、大学等（6月末現在）の求人数は3,228人で同じく3.7%増加している。いずれの求人数も3年連続して増加し、地場企業の採用意欲の高まりを反映した格好になっている。

一方、少子化のなかで長期的には県内の生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向が予測され、企業存続、地域発展のための人材確保が一層難しくなるのは確実で、今から将来を展望した幅広い雇用対策が急務となっている。

こうした雇用情勢の中、地域の実情や時代のニーズを踏まえ、多様な人材確保、働き方改革推進、女性の活躍推進、高齢者の就業促進など多方面から有効な雇用政策を早急に打ち出されたい。

1. 新卒者等の雇用確保について

- (1) 地場の中小企業・小規模事業者の人材確保は一段と困難になっており、産学官が連携した合同就職説明会の開催回数等の増強、さらには県外からの参加者を増やすために有効なオンライン開催の支援の継続
- (2) 若者の雇用のミスマッチを防止し、地元就職を促進するため、高校生の就業体験の充実や地場企業と連携したキャリア教育の強化
- (3) 県内就職を促進するため大学生や転職希望者に対して金融機関と連携した準備資金支援策の復活・拡充
- (4) 労働生産性向上を狙いに、中小企業・小規模事業者が取り組むデジタル人材の確保・育成への支援の強化

- (5) 資金的に脆弱な中小企業・小規模事業者が大手就職サイトに登録するなど採用活動に対する補助金等支援措置
- (6) 県内産業の持続的発展に向けて、若者の雇用確保と地元定着及びU I J ターンの促進を目的として実施するインターンシップ、企業説明会（オンライン実施含む）、企業見学バスツアー、就活サポーター制度、奨学金制度導入企業PR等の継続・拡充
- (7) 人口の社会増対策として効果を上げ始めている、県外からのUターン就職を促す奨学金支援事業の継続・拡充

2. 女性・高齢者・障がい者の雇用について

- (1) 仕事と子育ての両立を推進するため、県が県内企業に対して行った「子育て支援に関する調査」の結果を踏まえ、実効ある施策となるよう、国の次世代育成支援対策と連携するとともに、県独自にも女性の活躍推進策の強化
- (2) 少子化時代の多様な労働力の確保に向けて、「70歳までの就業支援講座」の復活など、企業で長年培った技術と経験を活かせるように高年齢者の就業確保推進策の拡充
- (3) 障がい者に対する企業の法定雇用率を実現するための支援
- (4) 製造業を中心とした女性経営者等が連携し、働き方改革や多様な人材の雇用確保に取り組む活動に対する支援

3. 外国人留学生の支援とグローバル人材の育成について

- (1) 県内の大学、大学院で学ぶ外国人留学生の県内企業への就職支援策や企業側の受け入れ・定着支援等の強化
- (2) 卒業後に県内企業への就職を目指す学生等への留学支援事業の継続的支援

4. その他雇用対策について

- (1) 高度な専門技術を持つ人材と地場企業との連携を支援する「プロフェッショナル人材戦略事業」の継続的支援
- (2) 労働生産性向上を狙いにリモートワークやWeb会議等の働き方改革の推進に向けたデジタル機器などの設備投資、デジタル人材の確保・育成への助成措置の拡充、同業種内での活用促進支援
- (3) 病気治療を続けながら仕事との両立を進める「岡山県地域両立支援推進チーム」の事業に対する支援の継続・拡充
- (4) ワークライフバランス、男性の育児休業、フレックス制度、健康経営優良法人認定制度及び勤務間インターバル制度など、多様で柔軟な働き方の推進や関連法制度に係る普及・啓発事業の拡充
- (5) 中小企業の競争力を高めるために、企業成長の源泉のひとつである「人」への投資として、業界内での現場課題の克服や生産性の向上、新分野への取り組みなどの企業価値向上に資する従業員リスクリング支援事業の拡充
- (6) 少子化対策と若年層の県外流出を食い止めるべく、働きやすい企業環境の構築を目的とした専門家派遣や、子育て応援企業（アドバンス企業含む）の取り組みPRを実施し、企業の競争力強化を支援する各種事業の創設
- (7) 人手不足と高齢化が進むなか、高等技術専門校等によるシニア労働者向け訓練メニューの拡充などによる意欲ある高年齢者の就業機会拡大支援
- (8) 人手不足と少子化のなかで今後必要性が高まる外国人労働者が、大都市部に集中することなく、地域ごとで安心して働けるよう、住環境（住居確保面など）をはじめとした地域の外国人材受入れ環境整備等の取り組み推進
- (9) 働き方改革や新型コロナウイルス感染症の影響による新たな働き方が生まれるなか、「晴れの国・岡山」においては、豊かな自然と風光明媚な景勝に恵まれており、また比較的災害の少ない土地柄を最大限活かし、働きながら休暇を取れる「ワーケーション」を推進する拠点として環境整備や情報発信の積極的推進
- (10) 新型コロナウイルス感染症の影響による従業員削減や外注先との取引停止など事業縮小後、

新型コロナウイルス感染症が沈静化し、経済が動き始めた際の従業員の再雇用や取引先の確保などに対する支援

- (11) 中小企業・小規模事業者の「成長」の源泉のひとつは人への投資であり、企業価値向上に資する従業員のリスクリングは重要であり、企業の実施環境整備とともに、単独では教育が実施しがたい小規模事業者の協働・連携実施等による教育制度の創設と実施の支援
- (12) 働き方改革関連法による物流・運送業界の「2024年問題」で事業者の稼働時間の減少に伴う収入減に対する支援
- (13) 労働人口の減少が進む中、中小企業・小規模事業者の人手不足は深刻さを増していることから、人材確保とあわせ、リスクリングや人材教育、研修開催等に対する支援、また就労機会の創出に向けての再就職、働きやすい環境整備に向けオンラインを活用した在宅ワークなどへの支援
- (14) 「2024年問題」により、物流や建設業界が人手不足による黒字倒産も予想されるなか、外国人労働者活用等の早急な対策
- (15) 新卒の高校生と大学生の県内就職者に対して、就職時に支給する助成金の創設
- (16) 雇用創出の観点から県内への企業・工場の積極的な誘致並びに工業団地の開発や整備
- (17) 人材不足の中小企業・小規模事業者に対する新卒・中途・高齢者雇用支援（企業説明会等）
- (18) 人材不足の中小企業・小規模事業者がIT利用・DX推進による取り組みで生産性向上を図る補助金等支援
- (19) 高度な専門人材と地元企業とのマッチングに新たな仕組みの創設

Ⅲ. 商店街・まちづくりに関する要望

1. 商店街・中心市街地の活性化について

- (1) 商店街や共同店舗組合等の小規模小売商業者が、自らの競争力を強化する目的において実施するイベントやリピーター確保事業の精度を上げるべく、事業計画策定やブラッシュアップを目的とした支援事業の対象拡充
- (2) 中心市街地の新しい土地等活用を促進するための法整備と補助制度の創設（アフターコロナ施策）
- (3) 老朽化した中心市街地の再整備への支援
- (4) 中心市街地活性化策についての専門家派遣への助成
- (5) 年々増加している商店街を含めた「空き店舗」の有効活用におけるマッチング事業への支援や成功事例などの情報提供
- (6) 地域おこし協力隊や地元高校生等との協働による中心市街地活性化策についての専門家派遣等への支援・助成
- (7) 商店街の空き店舗の活用において、市町村では補助金等の支援があるが、県としても補助金等、商店街活性化への支援
- (8) JR駅周辺の再開発に関して、まちづくりの一環として県としての助言や支援及び都市計画法の見直し等、市町村と連携した協議
- (9) 商店街が陰りを見せるなかで一部には個性的な店が新たに出店し、魅力あるまちづくりを担う商店街のにぎわい回復を目指す小規模事業者の創業に対する補助
- (10) 空き店舗・空き地の有効活用の推進のためのランドバンク創設支援

2. 観光産業の復興・活性化について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大により需要が落ち込んだ観光地・宿泊施設・商業集積等において、事業者が自ら商品力を磨き、情報を発信する取り組みや、集客を図る取り組み（イベント）等に対する支援
- (2) 今後本格化が見込まれるインバウンド観光における多言語対応の看板等の整備、「岡山県観光の魅力創造・整備・発信」など観光産業推進に向けた支援の拡充

Ⅳ. 国土強靱化に向けた災害対応に関する要望

1. 事業継続力強化を図る防災について

- (1) 近年多発する豪雨災害や南海トラフ地震発生の切迫性によるBCP（事業継続計画）策定・認定に係る専門家の派遣支援や策定した事業者への環境整備に関する補助などの支援や事業継続力強化計画認定のメリット（補助金、入札時の加点等）となる施策の実施
- (2) 平時はもとより災害時にも機能する通信や物流、サプライチェーン構築に向けた施策支援や自助としての「減災」への取り組み支援
- (3) 西日本豪雨災害により被災した地域の復旧は着実に進んでいるが、人口減少のなかでの新規顧客開拓や、アフターコロナへの対応が課題となっており、依然として復興への道のりは遠い状況にあり、継続した支援を要することから、引き続き十分な予算確保
- (4) 地域治水対策の総合的な見直し・推進
- (5) 団地型組合や広域連携を視野に入れた、連携型BCPに関する普及支援や計画作成支援及び組合等に災害時を見据えた旗振り役としての「防災士」育成支援の拡充
- (6) 頻発する自然災害等の緊急事態により、事業者は常に経営リスクと隣り合わせの状況にあるが、平時から経営基盤を強固にする備えにより、取引先や顧客からの信用を維持、事業継続力強化に取り組むべく、中小企業・小規模事業者の事業継続力強化を図るため、引き続きリスク対策を講じるための支援
- (7) 災害時に電柱の倒壊による道路の遮断防止や電力供給、通信回線保全のため、緊急車両輸送道路（羽島四十瀬線）をはじめ幹線道路の早期電線地中化
- (8) 国道53号の一部高規格化（ミニバイパス）金川～誕生寺の推進
- (9) 防災面のみならず、流通の効率化などストック効果も期待できることから、道路橋梁や港湾施設など老朽化したインフラ対策の更なる推進
- (10) 瀬戸内コリドー構想の促進について、瀬戸内海沿岸と島しょ部を空飛ぶクルマやドローンで人流・物流において社会課題を解決するための飛行ルートやバーティカルポート構築など岡山県を起点に瀬戸内の次世代モビリティ航空管制を支援

V. 地域振興、地域プロジェクト等に関する要望

1. 地域振興、活性化を図るための各地域対策について

- (1) 岡山商工会議所140周年事業「2030年に向けたまちづくり提言」に基づいて実行する活性化事業（カーボンニュートラルの実現、DX・GXの推進、スマート・ベニュー構想）への支援【岡山会議所】
- (2) 高齢化が進み街の活力を失いつつある「西大寺地域の活性化」支援【岡山会議所】
- (3) 阿知三丁目市街地再開発事業「あちてらす倉敷」も含め、倉敷駅南の開発が進むなか、南北の一体化と交通渋滞緩和を図るための倉敷駅前付近連続立体交差事業と水島臨海鉄道の倉敷駅への乗り入れ事業の推進支援【倉敷会議所】
- (4) 新産業創出のための航空宇宙産業推進及び次世代モビリティによるサービス産業の育成【倉敷会議所】
- (5) 美観地区が組織化され、昨年発足「くらしき美観地区事業者振興会」の積極的な支援【倉敷会議所】
- (6) 企業の戦略的な健康経営を推進するための優遇税制や自治体など入札でのポイント付与等各種制度の整備【倉敷会議所】
- (7) 水島コンビナートのカーボンニュートラル（CN）について、大手企業の情報開示とサプライチェーンである地域企業の連携は不可欠であるため、大手企業のCN実装と平行して地域産業への情報開示及び啓発により産業構造の改革を図る制度設計の指導【倉敷会議所】
- (8) ベンチャー、スタートアップ企業誘致に係る補助制度の創設【津山会議所】
- (9) 県施設の岡山市一極集中の是正及び分散化による地方創生の加速【津山会議所】
- (10) 宿泊施設が不足しており、新倉敷駅周辺へホテル等施設の誘致及び建設の支援【玉島会議所】
- (11) 都市計画法に基づく市街化区域と市街化調整区域（農業振興地域）の線引きが、現在の玉島の状況と合致しておらず開発許可に支障が出ているため、倉敷市と協議しながらの線引きの見直し（農振除外等）推進【玉島会議所】

- (12) 玉島の溜川周辺の浚渫に関し、近年の異常気象を鑑み浸水被害が発生する前に、倉敷市の出方を待ち動くのではなく、県主導で早急な計画を組んで浚渫等による堆積したヘドロの除去【玉島会議所】
- (13) 昨年より玉島商工会議所主催で毎年開催している玉島ハーバーフェスティバルについて、地域振興と地元事業者の活性化を目的に集客に努めているが、県の港湾関係が絡むことから県に陳情や要請することが多いことから、今まで以上の補助や支援【玉島会議所】
- (14) 新水島港(玉島E地区埠頭)は水深も十分あり、大型クルーズ船の入港は可能であることから大型クルーズ船寄港による外国人観光客誘致のための航路の開発【玉島会議所】
- (15) 宇野港の新港湾計画の策定及び株式会社パワーエックスに続く企業進出を図るため、田井新港貯木場の埋め立てによる工業用地の拡大【玉野会議所】
- (16) 中心市街地にある宇野港を観光港として発展させるため、広く民間から商業施設整備を含むグランドデザインのプロポーザルの公募【玉野会議所】
- (17) 地域の活性化と国際化に繋がる大型クルーズ船誘致活動の支援【玉野会議所】
- (18) レガシーである宇高連絡船の記念館の建設支援【玉野会議所】
- (19) 地域の抱える人手不足問題を解消するために県外からの移住者、外国人技能実習生に対する居住等の助成支援【玉野会議所】
- (20) 瀬戸内海国立公園指定90周年を迎え、世界に誇る風光明媚な瀬戸内エリアの情報発信の強化【児島会議所】
- (21) 瀬戸大橋通年ライトアップについては、夜型観光における地域の起爆剤として早急な実現【児島会議所】
- (22) 瀬戸内海に面し、自然景観や海産物等豊富な資源にも恵まれている児島地区においては、ワーケーションや二拠点生活また移住等に適した地区として移住定住の促進【児島会議所】
- (23) 海洋レジャーを含め、アウトドアやサイクリング等レジャーやスポーツを楽しめる地区として、海岸線等の整備やPR等の強力な推進【児島会議所】
- (24) 繊維産業「ものづくり」を中心とした「産業観光」の取り組み及び若者によるスタートアップ企業への支援【児島会議所】
- (25) 「くらしき・こじま 海の駅」に登録した児島観光港の活性化推進【児島会議所】
- (26) 令和7年度開通予定の「国道2号線笠岡バイパス及び玉島笠岡道路」、令和8年度供用開始予定の山陽自動車道 篠坂PAの「スマートインターチェンジ整備事業」による渋滞緩和と物流の効率化に伴う企業進出、また雇用増大が見込まれるエリアの活性化並びに周辺観光に対する支援【笠岡会議所】
- (27) 備後圏域における慢性的な交通渋滞の緩和、生活道路等の安全対策、防災・減災対策、また物流の効率化などを目的とする「一般国道2号線福山道路」の整備に対する支援【笠岡会議所】
- (28) 日本遺産「知ってる!? 悠久の時間が流れる石の島〜海を越え、日本の礎を築いた せとうち備讃諸島〜」を活用したツアー企画やイベント開催、新名物としての「潮待チ檸檬メシ」の推進など観光振興の取り組みへの支援【笠岡会議所】
- (29) 地域団体商標「笠岡ラーメン」を活用した、まちおこし事業への支援、また岡山県全体をご当地グルメで盛り上げる「おかやまご当地グルメまちづくりネットワーク」の活動支援【笠岡会議所】
- (30) 農道空港を起点とした、陸地と島地部を結ぶ未来インフラの一つとして、空飛ぶクルマを利用した物流や人の輸送に向けた実証実験への支援【笠岡会議所】
- (31) 地域資源としての廃校の活用事例である「シェアアトリエ海の校舎」の取り組み支援【笠岡会議所】
- (32) 観光資源としての牡蠣養殖地のブランド化（産地化）への取り組み支援【笠岡会議所】
- (33) 「井原デニム」が地域団体商標として認定されたが、一層の情報発信のため、国内外の展示会・イベント等への参加費用等の継続的な助成【井原会議所】
- (34) 県道笠岡井原線は徐々に整備が行われているが、引き続き拡幅ならびに歩道の整備促進【井原会議所】
- (35) 小規模事業者指導費補助金のうち企画提案型・小規模事業者等支援事業のチャレンジシヨ

- ップ、インキュベーション事業への対応など使途と予算額の拡充【井原会議所】
- (36) 小田川の川床の浚渫および河川敷の支障木の撤去【井原会議所】
 - (37) 山陽自動車道篠坂パーキングエリアにおけるスマートインターチェンジの早期実現とアクセスする県道３号の整備促進【井原会議所】
 - (38) 慢性的な渋滞により緊急時や市民生活にも支障をきたす備前大橋、国道２５０号、国道２号、県道等交通インフラの整備【備前会議所】
 - (39) 持続的な地場産業振興の観点からの東備港整備の実現【備前会議所】
 - (40) 日本遺産認定の旧閑谷学校の教育資産としての有効活用と備前焼の普及推進【備前会議所】
 - (41) ＪＲ赤穂線の増便【備前会議所】
 - (42) 中山間地域の小都市に対する定住対策への特別な支援【高梁会議所】
 - (43) 高梁川、成羽川の治水対策の強化・推進【高梁会議所】
 - (44) 地方創生の観点から、（小規模）県立高等学校存続に向けた再編整備基準の見直し並びに県独自の支援措置【高梁会議所】
 - (45) 道の駅整備等地域経済活性化事業への支援【高梁会議所】
 - (46) 日本遺産「ジャパンレッド発祥の地・吹屋」と天空の山城「備中松山城」を活かした経済効果のある観光振興への支援【高梁会議所】
 - (47) 新県立博物館の総社市への建設【総社会議所】
 - (48) 地域ニーズに応じた土地利用（農振解除を含む）への要件緩和【総社会議所】
 - (49) 作山古墳整備への支援【総社会議所】
 - (50) 国道１８０号の市街地区間の交通渋滞緩和並びに災害時の交通確保のため、主要地方道新見日南線に接続するバイパス工事等の早期整備に向けた支援【新見会議所】
 - (51) 幹線道である国道１８０号が災害等により通行不能となった場合の迂回道路の確保・整備に向けた支援ならびにＪＲ等の公共交通機関が運行不能となった場合の代替輸送の確保に向けた支援【新見会議所】
 - (52) 集中豪雨等による堤防決壊、河川氾濫を防止するため、高梁川の浚渫工事及び雑木等の撤去などの継続的な実施【新見会議所】
 - (53) ＪＲ芸備線、姫新線の存続及び新見駅のバリアフリー化などの駅舎改修による利便性向上に対する支援【新見会議所】
 - (54) 新見駅周辺を核とした都市機能の充実や、にぎわい創出を目指す「新見駅周辺のまちづくり基本構想」の実現に向けた支援【新見会議所】
 - (55) 新見公立大学の通学路である主要地方道新見日南線の新見駅から新見公立大学方面に向けての道路拡幅整備の実現に向けた支援【新見会議所】

Ⅵ. 経営指導員等の人件費に関する要望

全企業数の約８５％を占める小規模事業者は、域内の生産、雇用、消費、投資により地域経済の循環を支えており、伝統文化の継承、防災、子供の見守りなど地域コミュニティにとっても不可欠な存在であるが、近年の原材料・エネルギーの高騰、人手不足、後継者不足、働き方改革、デジタル化、カーボンニュートラル、ＢＣＰ策定など対応すべき経営課題は年々多様化・専門化している。

その経営を現場の最前線で支える商工会議所、商工会の経営指導員は存立基盤を県の補助金に頼っているが、業務量が増大している反面、人件費に充てられる予算は減少傾向にあり、人材の確保難や慢性的なマンパワー不足により危機的状況に陥っている。

特に平成２６年に施行された小規模支援法が令和元年に改正されたことに伴い、小規模事業者の経営戦略に踏み込んだ支援を実施する「経営発達支援計画」に取り組んでいるほか、近年では対話と傾聴により経営者自ら課題を設定し、自律的な克服に導くという時間と手間のかかる「経営力再構築伴走支援」という支援手法が国により推奨されている。

こうした状況の中、今後も地域の小規模事業者をサポートする経営指導員の役割はより重要度を増し、支援ニーズも高まっている。岡山県予算項目「商工団体支援事業費」の中の「小規模事業支援事業」の経営指導員等の人件費について大幅な増額をお願いしたい。

(３) 広 報

- a 玉島商工会議所メールマガジン（71回）
 - ・配布先 会員事業所及び従業員、関係団体
 - ・内容 会議所事業、セミナー情報、会員事業所紹介、クーポン事業など配信
- b 玉島商工会議所ホームページ（158回）
 - ・商工会議所から発信する情報・サービスをカテゴリー毎に分類し、広く発信

（4）証明・鑑定・検査

A 証 明

- a 貿易関係調査

登録業者数	6社（申請者6）
貿易証明発給件数	33件
内訳	日本産原産地証明 9件
	サイン証明 23件
	日本法人証明 1件

- b 国内取引関係証明 この項該当なし

B 鑑 定 この項該当なし

C 検 査 この項該当なし

（5）信用調査

- a 商業関係 0件
- b 工業関係 0件

（6）技術技能の普及検定

A 検 定

- a 令和5年度珠算能力・暗算検定試験・段位認定試験
 珠算は永い歴史と伝統を有し、わが国特有の計算技術であり、今日もなお計数観念の高揚に大きな役割を果たしており、商工会議所においては商工会議所法に基づき、技能検定を本年度も実施した。

第228回	令和5年	6月25日（日）	受験者	61名
第229回	令和5年	10月29日（日）	受験者	59名
第230回	令和6年	2月11日（日）	受験者	51名
- b 令和5年度簿記検定試験
 事務能力を増進し、企業経営の健全化に寄与するため、簿記検定を全国統一した基準によって実施した。

第164回	令和5年	6月11日（日）	受験者	5名
第165回	令和5年	11月19日（日）	受験者	17名
第166回	令和6年	2月25日（日）	受験者	10名

（7）取引紛争のあっせん，調停，仲裁

この項該当なし

(8) 経営改善普及事業等
A 巡回窓口相談事業

経営指導員の指導件数	経営指導員 設置延月数		36												
			対象 企業数	経 営 革 新	経 営 一 般	情報化	金融	税 務	労 働	取 引	環境 対策	事 業 承 継	B C P	その他	計
	巡回指導	建設業	34	1	26	1	14	2	1			2		1	48
		製造業	22		28		1	1	3	3				1	37
		運輸業	1		5										5
		卸売・ 小売業	35	2	35	1	8	4	1	1					52
		飲食・ 宿泊業	25		37	1	5	1							44
		サービス 業	18		16	1	5	5							27
		その他	4		1	1		11							13
		計	139	3	148	5	33	24	5	4	0	2	0	2	226
	窓口指導	建設業	58		51	3	6	35	28	3			1	11	138
		製造業	42		44	4	3	25	9	7				7	99
		運輸業	3		3	1		1							5
		卸売・ 小売業	57		41	4	3	24	16	4		1	1	8	102
		飲食・ 宿泊業	44		42	2	5	21	4	4				6	84
		サービス 業	85		112	4	5	39	26	5				14	205
		その他	19		4		1	16						6	27
		計	308		297	18	23	161	83	23	0	1	2	52	660
	創業指導	巡回指導	2		2										2
		窓口指導	26		31	2	3	2							38
		計	28	0	33	2	3	2	0	0	0	0	0	0	40
講習会等の開催 による指導件数			対象 企業数	経 営 革 新	経 営 一 般	情報化	金融	税 務	労 働	取 引	環境 対策	事 業 承 継	B C P	その他	計
	集団指導	回数			6										6
		人数	44		69										69
	個別指導	回数			20										20
		人数	23		30										30

B 講習会開催状況

月・日	演 題	講 師	参加人数	時間数
4 月 7 日	新入社員セミナー	社会保険労務士 赤 澤 靖 弘	1 8	6
1 0 月 2 6 日	ちいさな会社の人材確保術	アクシーズ合同会社 田 原 玲 美	1 3	2
1 1 月 6 日	企業体質強化セミナー	中小企業診断士 近 藤 厚 志	7	2
1 1 月 2 1 日	経営計画策定セミナー	中小企業診断士 大 西 修	1 2	2
1 月 2 4 日	DX×マーケティング セミナー	グローバルマーケティング(株) 堀 田 タケル	6	2
3 月 1 9 日	会社における整理収納セ ミナー	igokochi 代表 堀 井 紘 子	1 3	1.5
合 計		6 回	6 9	1 5.5

C 個別指導による指導状況

演 題	講 師	回数	参加人数	時間数
派 遣 相 談	中小企業診断士 他	9 回	9	1 8
窓 口 相 談	同 上	1 1 回	2 1	2 1
合 計		2 0 回	3 0	3 9

D 金融のあっせん

日 本 政 策 金 融 公 庫	制 度 名	斡旋件数	貸付件数	斡旋総額（万円）	貸付総額（万円）
	一 般 貸 付	1	0	6 0 0	0
	特 別 貸 付				
	マ ル 経 融 資	1 0	9	8, 0 4 0	7, 9 9 0
	セーフティーネット貸付				
	新 創 業 融 資				
	計	1 1	9	8, 6 4 0	7, 9 9 0

E 記帳継続指導

配 分 人 数	員 数	指導延回数	対象事業者数	うち機械化数
3	1	1 6 2. 0	4 6	4 4

F 労働保険等の事務代行

事業主の委託を受けて、労働保険料の納付や労働保険の各種届出などの代行事務を取り扱っている。

【件 数】

労働保険	事業者数	従業員数
	302	898
各種共済 加入者数	小規模共済	倒産防止
	206	38

(9) 共済事業

本年度における会員事業所を対象とした各種共済制度は次のとおりである。

区 分	加入状況 (R. 6. 3. 31)		月 額 掛 金
1. 玉島りょうかん共済	223事業所	736人	1,281,728円
2. 特定退職金共済	176事業所	910人	5,598,000円
3. 大型保障	6事業所	7人	67,127円
4. 大型損保セット	1事業所	2人	8,530円
5. 福祉プラン	12事業所	21人	85,602円
6. 個人年金	23事業所	26人	259,373円
7. ガン保険	37事業所	51人	468,802円
8. 終身保障	15事業所	16人	322,134円
9. 役員退職金	1事業所	1人	10,155円
10. 総 合	265事業所	542人	7,299,616円
11. 定期保険	24事業所	31人	549,184円
12. 個人扱契約	4事業所	4人	28,645円
合 計	787事業所	2,347人	15,978,896円

3 事 項 別 状 況

1. 定款および規約等

- (1) 定 款
この項変更なし
- (2) 規 約
玉島商工会議所会費規約
労働保険事務組合事務処理規約の変更

2. 組 織

(1) 会 員

A 会員数

区 分	前 年 度 末 会 員 数	新規加入者数	組 織 変 更 による増減	脱退者数	令和5年度末 会 員 数
個 人	3 4 6	1 4	－ 2	1 7	3 4 1
法 人	5 1 0	1 5	2	1 6	5 1 1
団 体	7	0	0	0	7
計	8 6 3	2 9	0	3 3	8 5 9

a 業種別会員数

部 会 名	個 人	法人（団体を含む）	計
エネルギー・交 通	1 9	6 0	7 9
機 械 工 業	1 4	6 0	7 4
建 設 業	7 1	1 3 5	2 0 6
サ ー ビ ス 業	8 2	3 6	1 1 8
特 織 工 業	1 5	4 9	6 4
商 販 流 通	6 7	8 8	1 5 5
庶 業	7 3	9 0	1 6 3
計	3 4 1	5 1 8	8 5 9

b 地区別会員数

区 分	個 人	法人（団体を含む）	計
上 成	1 9	2 0	3 9
乙 島	4 3	1 1 8	1 6 1
玉 島	4 6	7 7	1 2 3
阿 賀 崎	3 0	4 8	7 8
中 央 町	3 4	4 4	7 8
柏 島 ・ 柏 台	4 1	3 6	7 7
勇 崎	1 6	2 7	4 3
長尾・爪崎・新倉敷・陶	6 4	8 6	1 5 0
八島・道越・道口・富	2 9	4 2	7 1
黒 崎 ・ 黒 崎 新 町	1 8	2 1	3 9
計	3 4 0	5 1 9	8 5 9

c 管内事業所数（令和3年経済センサス）

商工業者数 1, 7 0 1（事業所総数1, 9 4 3）

会 員 数 8 5 9 組織率 5 0 . 5 %

B 部 会

部 会 名	所 属 業 種	所 属 部 会 員 数
エネルギー・交通	石油製品販，自転車修理販，砂利運輸業，海運業，プロパン販 石炭販，燃料販，自動車修理販，旅客運送，貨物運送，電力供給，倉庫業	7 9
機 械 工 業	鉄工業，鑄造業，製缶，熔接，エンジン製，造船，砲金鑄造 板金加工，工作機械製，アルミ再生塊	7 4
建 設 業	土木建設，電気工事，木工，左官，セメントブロック製，建材， 製材，建具，水道工事，家具製販，樽製，表具	2 0 6
サ ー ビ ス 業	クリーニング，旅館，料理，食堂，浴場，理美容，映画，遊技場	1 1 8
特 織 工 業	紡績，縫製，作業服製，手袋製，テント製，帽子製，足袋布帛 製、酒造，練製品，製麺，麦稈，漬物，酢，ソース，アミノ酸， 製氷，製パン，味噌，醤油，輸出雑貨，飼料，線香，精麦，木 毛，香辛料，化学肥料，柿巻	6 4
商 販 流 通	鮮魚，青果，乾物，化粧品，金物，薬品，衣料，塗料，紙類 飲料水，砂糖，荒物，その他商品卸業，商品小売業一切	1 5 5
庶 業	金融，印刷，書籍，税理士，病院，鉄屑再生処理，その他部会 に属せざる会員	1 6 3
合 計		8 5 9

C 委員会

委員会名称	委員数	主な審議事項
総務・広報委員会	9	・広報活動を始めとした会議所事務局業務のサポート ・優良商工従業員表彰 ・玉島まつり事業全般の企画支援 ・会員親睦事業の企画、立案、運営等 ・80周年記念式典の開催準備、運営 ・地元で活動する各団体との協働
地域振興委員会	13	・新玉島名物（たましまブランド）の創出 ・空き店舗活用マッチング事業 ・新倉敷駅構内へのピアノ設置、関連催事の企画 ・玉島ハーバーフェスティバルの企画、運営 ・地域事業の情報、活動の窓口
環境・エネルギー委員会	10	・溜川清掃大作戦 ・「溜川の新景観と環境を考える会」の活動支援 ・GX対応、環境・エネルギー問題の調査及び提言 ・SDGs、エコ、環境改善に向けた啓蒙活動等
デジタル化推進委員会	11	・デジタル化推進に向けての啓蒙活動 ・DX対応への事業革新手法の調査、実証実験等
玉島ふれあい物産展委員会	10	・物産展の事業全般の企画、運営 ・玉島ハーバーフェスティバル事業のサポート ・その他、既存の地元イベントへの参加、支援等
玉島長期ビジョン委員会	11	・E地区、ハーバーアイランド立地企業との連帯模索 ・学園都市構想の企画支援、推進等 ・新倉敷駅周辺へのホテル誘致活動

(2) 特別会員

令和6年3月31日時点 72名

(3) 特定商工業者

基準日（令和6年3月31日）における特定商工業者数

区分	特定商工業者数	内 訳	
		会員数	非会員数
法人	521名	449名	72名（46名）

（ ）内は非会員のうち負担金を納入しているものの数

(4) 役員

a 役員の定数及び実数

区分	定数	実数	備考
会 頭	1名	1名	
副 会 頭	3名	3名	
専 務 理 事	1名	1名	
常 議 員	20名	20名	
監 事	3名	3名	

b 令和5年度末時点の各役員の氏名、企業の名称および企業上の地位、企業の業種

役職名	氏 名	企業の名称および企業上の地位	企 業 の 業 種
会 頭	守 永 一 彦	守永運輸(株)代表取締役	運 送 業
副 会 頭	兼 信 英 雄	太陽電機工業(株)代表取締役	電気工事
〃	中 藤 収	(株)玉島活版所代表取締役	印 刷 業
〃	立 花 功	立花容器(株)専務取締役	食品容器製造販売
専務理事	原 田 浩 明	玉島商工会議所	地域経済団体
常 議 員	赤 澤 邦 久	(医)玉島中央病院事務長	総合病院
〃	井 田 誠	(株)井田組代表取締役	建 設 業
〃	小 幡 久 人	赤沢鋳接工業(株)代表取締役社長	金属加工業
〃	小 幡 英 樹	(株)オバタボート代表取締役	ボート船外機販売、修理
〃	金 辺 重 彦	玉島テレビ放送(株)取締役副社長	有線放送業
〃	狩 野 良 弘	赤澤屋(株)代表取締役社長	石油製品の卸小売
〃	妹 尾 光 雄	エラヤ食品工業(株)代表取締役	食品製造卸業
〃	高 木 豊	高木金属(株)代表取締役	建築材料卸売業
〃	滝 澤 十	水島機工(株)常務取締役	自動車部品製造
〃	建 部 淳 一	玉島信用金庫理事	信用金庫
〃	中 原 久	ナカハラ・インコム(株)代表取締役	自動車部品製造
〃	難 波 福 男	(株)玉島ナンバ代表取締役	時計、貴金属販
〃	根 本 一 夫	割烹子元代表者	飲 食 業
〃	野 村 雅 之	学校法人作陽学園総務担当参与	学校法人
〃	花 田 義 久	花田食品(株)代表取締役	清涼飲料・菓子製造
〃	原 田 信 治	(株)富士モータース代表取締役	自動車修理販売
〃	平 井 始	(有)菓子処ひらい代表取締役会長	餅、和菓子製造販売
〃	船 越 淳 二	(株)クラレ倉敷事業所総務部長	化成品、化学繊維他製造
〃	三 浦 良 平	中国電力(株)玉島発電所所長	電気事業
〃	森 本 一	(株)森本工務店代表取締役	総合建設業
監 事	塚 常 真 輔	(株)中国銀行玉島支店支店長	銀 行 業
〃	高 取 宏 史	(株)トマト銀行玉島支店支店長	銀 行 業
〃	今 井 啓 介	(株)広島銀行玉島支店支店長	銀 行 業

(5) 議 員

a 議員の定数、実数

区 分	定 数	実 数	備 考
1 号 議 員	3 6 名	3 6 名	
2 号 議 員	2 4 名	2 4 名	
3 号 議 員	1 0 名	1 0 名	
計	7 0 名	7 0 名	

b 令和5年度末時点の各議員の氏名、企業の名称および企業上の地位、企業の業種

氏 名	企業の名称および企業上の地位	企 業 の 業 種
1号議員		
青 江 宏 之	(株)青江造園土木代表取締役	造園土木業
赤 澤 雅 樹	富田産業(株)代表取締役	石油製品・プロパン販売
安 藤 辰	(株)安藤嘉助商店代表取締役	建築・リフォーム・不動産業
猪 木 洋二郎	(株)ミツヤ代表取締役	機械工具卸販売及び修理
池 田 勝 祐	中国製帽所代表者	子供服・帽子製造
上 野 洋 輔	上野油業(株)代表取締役	石油製品・プロパン販売
大 野 豊	(株)豊島屋取締役社長	調味料製造
岡 部 寛	(有)岡部住建代表取締役	一般土木建築工事業
小 幡 久 人	赤沢鎔接工業(株)代表取締役社長	製缶・配管・溶接
小 幡 英 樹	(株)オバタボート代表取締役	ボート船外機販売、修理
金 谷 晋 爾	(株)光代表取締役	冠婚葬祭業
金 邊 卓 資	(有)金辺商会取締役	自動車部品販売
鎌 田 龍 人	丸八青果(資)代表社員	青果物卸
菊 池 東	菊池酒造(株)代表取締役	清酒製造販売
香 西 哲 郎	(株)コーザイ道路代表取締役	塗装工事業
廣 本 篤	(有)コーモト薬局代表取締役	薬（小売・調剤）販売
佐 藤 由 教	玉島魚市場(有)代表取締役	鮮魚介類販売
初 村 和 彦	(株)コーワ設備代表取締役	給排水・衛生設備工事業
千 田 修	中央急配(株)代表取締役	自動車運送業
高 島 義 樹	(有)高島電機代表取締役	自動車整備業
高 杉 恭一郎	テキスタイル物流(株)代表取締役社長	衣類総合サービス業
中 野 旬 一	玉島味噌醤油(資)代表社員	味噌醤油製造
中 原 久	ナカハラ・インコム(株)代表取締役	自動車部品製造
難 波 龍 也	(株)なんば技研代表取締役社長	測量設計・建築サービス業
難 波 福 男	(株)玉島ナンバ代表取締役	時計、貴金属販
西 山 雄 朗	西山土地建物商事代表者	不動産業
沼 本 浩 彰	ワールドクィーン(株)取締役	不動産業、損保代理店
根 本 一 夫	割烹子元代表者	飲 食 業
花 田 義 久	花田食品(株)代表取締役	清涼飲料・菓子製造
原 田 信 治	(株)富士モータース代表取締役	自動車修理販売
平 岡 秀 樹	平岡秀慶園(有)代表取締役	造園土木業
平 野 一 正	(株)平野瓦工業所代表取締役	瓦施工販売
藤 井 和 哉	岡山県西部ヤクルト販売(株)代表取締役会長	乳酸菌飲料販売
三 宅 泰 典	(株)サンタック代表取締役	塗料販売・塗装機器販売
柚 木 智 子	(医)すこやか会ゆのき医院理事	総合病院
渡 辺 浩 充	(株)渡辺開発代表取締役	土木工事業

氏 名	企業の名称および企業上の地位	企 業 の 業 種
2号議員		
浅 沼 秀 社	(有)シュウテック代表取締役	介護事業
猪 木 慎 一	玉中ポートサービス(株)代表取締役会長	船舶代理店
井 田 誠	(株)井田組代表取締役	建 設 業
今 城 友三郎	(有)今城盛文堂代表取締役	書籍文具販
小 野 厚	(株)アサヒメッシュ産業相談役	金属加工業
兼 信 英 雄	太陽電機工業(株)代表取締役	電気工事
狩 野 良 弘	赤澤屋(株)代表取締役社長	石油製品の卸小売
甲 谷 禎 浩	(株)カンガイ代表取締役社長	鉄屑再生処理業
久戸瀬 由	(株)天生取締役所長	葬 祭 業
小 林 尚 寛	日章不動産(株)代表取締役	不動産業
妹 尾 光 雄	エラヤ食品工業(株)代表取締役	食品製造卸業
高 木 豊	高木金属(株)代表取締役	建築材料卸売業
高 田 大 輔	(株)中国電業舎代表取締役	電気設備工事
中 藤 収	(株)玉島活版所代表取締役会長	印 刷 業
中 野 善 隆	(株)スーパードライチェーン執行役員	一般クリーニング
野 田 慎 一	(株)野田タンス店代表取締役会長	家 具 販
原 田 猛	(株)光洋鉄工所代表取締役社長	製 缶
平 井 始	(有)菓子処ひらい代表取締役会長	餅類、和菓子製造販売
藤 井 秀 和	(株)ナショナル発条代表取締役社長	スプリング製造販売
富士野 誠	(株)富士野代表取締役	建築・土木資材の卸売
堀 広 司	(株)廣珍代表取締役	飲 食 業
虫 明 徳 二	(株)エビスイ取締役社長	冷凍食品卸・水産物卸
守 永 一 彦	守永運輸(株)代表取締役	運 送 業
森 本 一	(株)森本工務店代表取締役	総合建設業
3号議員		
赤 澤 邦 久	(医)玉島中央病院事務長	総合病院
金 辺 重 彦	玉島テレビ放送(株)取締役副社長	有線放送業
中 西 修 一	日本エアロフォージ(株)代表取締役社長	航空機・発電向け鋳造品の製造
野 村 雅 之	学校法人作陽学園総務担当参与	学校法人
滝 澤 十	水島機工(株)常務取締役	自動車部品製造
建 部 淳 一	玉島信用金庫監事	信用金庫
立 花 功	立花容器(株)専務取締役	食品容器製造販売
谷 澤 英 幸	笠岡信用組合玉島支店支店長	銀 行 業
船 越 淳 二	(株)クラレ倉敷事業所総務部長	化成品、化学繊維他製造
三 浦 良 平	中国電力(株)玉島発電所所長	電気事業

(6) 部会長等

令和5年度末時点の各部会長，副部会長の氏名，企業の名称および企業上の地位，企業の業種

部会長・副部会長名	企業の名称，企業上の地位	業 種
エネルギー・交通		
部 会 長 狩 野 良 弘	赤澤屋(株)代表取締役社長	石油製品の卸小売
副部会長 猪 木 慎 一	玉中ポートサービス(株)代表取締役会長	船舶代理店
〃 千 田 修	中央急配(株)代表取締役	自動車運送業
〃 原 田 信 治	(株)富士モータース代表取締役	自動車修理販売
機械工業部会		
部 会 長 原 田 猛	(株)光洋鉄工所代表取締役社長	製 缶
副部会長 小 幡 久 人	赤沢鎔接工業(株)代表取締役社長	製缶・配管・溶接
〃 高 木 豊	高木金属(株)代表取締役	建築材料卸売業
建設業部会		
部 会 長 兼 信 英 雄	太陽電機工業(株)代表取締役	電気工事
副部会長 井 田 誠	(株)井田組代表取締役	建 設 業
〃 高 田 大 輔	(株)中国電業舎代表取締役	電気設備工事
〃 森 本 一	(株)森本工務店代表取締役	総合建設業
サービス業部会		
部 会 長 根 本 一 夫	割烹子元代表者	飲 食 業
副部会長 堀 広 司	(株)廣珍代表取締役	飲 食 業
〃 中 野 善 隆	(株)スーパードライチェーン執行役員	一般クリーニング
〃 金 谷 晋 爾	(株)光代表取締役	冠婚葬祭業
特織工業部会		
部 会 長 立 花 功	立花容器(株)専務取締役	食品容器製造販売
副部会長 妹 尾 光 雄	エラヤ食品工業(株)代表取締役	パン製造卸業
〃 花 田 義 久	花田食品(株)代表取締役	清涼飲料・菓子製造
〃 菊 池 東	菊池酒造(株)代表取締役	清酒製造販売
商販流通部会		
部 会 長 野 田 慎 一	(株)野田タンス店代表取締役会長	家 具 販
副部会長 虫 明 徳 二	(株)エビスイ取締役社長	冷凍食品卸・水産物卸
〃 鎌 田 龍 人	丸八青果(資)会社代表社員	青果物卸
〃 金 邊 卓 資	(有)金辺商会取締役	自動車部品販売
庶業部会		
部 会 長 今 城 友三郎	(有)今城盛文堂代表取締役	書籍文具販
副部会長 中 藤 収	(株)玉島活版所代表取締役	印 刷 業
〃 金 辺 重 彦	玉島テレビ放送(株)取締役副社長	有線放送業
〃 浅 沼 秀 祉	(有)シュウテック代表取締役	介護事業

(7) 特別顧問・委員長等

令和5年度末時点の特別顧問の氏名、職業

特 別 顧 問	事 業 所 名	職 業
小 野 厚	(株)アサヒメッシュ産業	金属加工業
野 田 慎 一	(株)野田タンス店	家 具 販
原 田 猛	(株)光洋鉄工所	製 缶
虫 明 徳 二	(株)エビスイ	冷凍食品卸・水産物卸

令和5年度末時点の各委員長、副委員長および委員の氏名、職業

委 員 名	事 業 所 名	職 業
総務・広報委員会 (9名)		
委員長 妹 尾 光 雄	エラヤ食品工業(株)	食品製造卸業
副委員長 難 波 福 男	(株)玉島ナンバ	時計、貴金属販売
委 員 池 田 勝 祐	中国製帽所	子供服・帽子製造
〃 今 城 友三郎	(有)今城盛文堂	書籍文具販
〃 大 野 豊	(株)豊島屋	調味料製造
〃 小 幡 久 人	赤沢鋳接工業(株)	製缶・配管・溶接
〃 金 谷 晋 爾	(株)光	冠婚葬祭業
〃 鎌 田 龍 人	丸八青果合資会社	青果物卸
〃 富士野 誠	(株)富士野	建築・土木資材の販売
地域振興委員会 (13名)		
委員長 中 原 久	ナカハラ・インコム(株)	自動車部品製造
副委員長 猪 木 洋二郎	(株)ミツヤ	機械工具卸販売及び修理
委 員 猪 木 慎 一	玉中ポートサービス(株)	船舶代理店
〃 今 井 啓 介	(株)広島銀行玉島支店	銀 行 業
〃 菊 池 東	菊池酒造(株)	清酒製造販売
〃 中 西 修 一	日本エアロフォージ(株)	航空機・発電向け鋳造品の製造
〃 野 村 雅 之	(学)作陽学園	学校法人
〃 難 波 龍 也	(株)なんば技研	測量設計・建築サービス業
〃 根 本 一 夫	割烹子元	飲 食 業
〃 平 井 始	(有)菓子処ひらい	餅類、和菓子製造販売
〃 平 野 一 正	(株)平野瓦工業所	瓦施工販売
〃 藤 井 和 哉	岡山県西部ヤクルト販売(株)	菓 (小売・調剤) 販売
〃 高 取 宏 史	(株)トマト銀行玉島支店	銀 行 業
環境・エネルギー委員会 (10名)		
委員長 建 部 淳 一	玉島信用金庫	銀 行 業
副委員長 高 島 義 樹	(有)高島電機	自動車整備業
委 員 赤 澤 邦 久	(医)玉島中央病院	病院運営
〃 赤 澤 雅 樹	富田産業(株)	石油製品・プロパン販売
〃 上 野 洋 輔	上野油業(株)	石油製品・プロパン販売
〃 佐 藤 由 教	玉島魚市場(有)	鮮魚介類販売
〃 高 杉 恭一郎	テキスタイル物流(株)	衣類総合サービス業
〃 谷 澤 英 幸	笠岡信用組合玉島支店	銀 行 業
〃 三 宅 泰 典	(株)サンタック	塗料販売・塗装機器販売
〃 柚 木 智 子	(医)すこやか会ゆのき医院	病院運営

デジタル化推進委員会 (11名) 委員長 森 本 一 副委員長 滝 澤 十 委員 金 辺 重彦 〃 久戸瀬 由 〃 廣 本 篤 〃 小 林 尚寛 〃 初 村 和彦 〃 千 田 修 〃 中 野 旬一 〃 藤 井 秀和 〃 堀 広 司	(株)森本工務店 水島機工(株) 玉島テレビ放送(株) (株)天生 (有)コーモト薬局 日章不動産(株) (株)コーワ設備 中央急配(株) 玉島味噌醤油(資) (株)ナショナル発条 (株)廣珍	総合建設業 自動車部品製造 有線放送業 葬 祭 業 薬 (小売・調剤) 販売 不動産業 給排水・衛生設備工事業 自動車運送業 味噌醤油製造 スプリング製造販売 飲 食 業
玉島ふれあい物産展委員会 (10名) 委員長 小 幡 英 樹 副委員長 花 田 義 久 委員 金 邊 卓 資 〃 甲 谷 禎 浩 〃 高 田 大 輔 〃 塚 常 真 輔 〃 沼 本 浩 彰 〃 原 田 信 治 〃 平 岡 秀 樹 〃 渡 辺 浩 充	(株)オバタボート 花田食品(株) (有)金辺商会 (株)カンガイ (株)中国電業舎 (株)中国銀行玉島支店 ワールドクィーン(株) (株)富士モータース 平岡秀慶園(有) (株)渡辺開発	ボート船外機販売、修理 清涼飲料・菓子製造 自動車部品販売 鉄屑再生処理業 電気設備工事 銀 行 業 不動産業、損保代理店 自動車修理販売 造園土木業 土木工事業
玉島長期ビジョン委員会 (11名) 委員長 高 木 豊 副委員長 浅 沼 秀 祉 副委員長 三 浦 良 平 委員 青 江 宏 之 〃 安 藤 辰 辰 〃 井 田 誠 〃 船 越 淳 二 〃 岡 部 寛 〃 狩 野 良 弘 〃 香 西 哲 郎 〃 西 山 雄 朗	高木金属(株) (有)シュウテック 中国電力(株)玉島発電所 (株)青江造園土木 (株)安藤嘉助商店 (株)井田組 (株)クラレ倉敷事業所 (有)岡部住建 赤澤屋(株) (株)コーザイ道路 西山土地建物商事	建築材料卸売業 介護事業 電気事業 造園土木業 建築・リフォーム・不動産業 建 設 業 化成品、化学繊維他製造 一般土木建築工事業 石油製品の卸小売 塗装工事業 不動産業

(8) 顧問・参与

a 顧 問

伊 東 香 織 (倉敷市長)
中 塚 周 一 (岡山県議会議員)

b 参 与

馬 場 一 晃 (玉島警察署長)
石 田 俊 幸 (玉島税務署長)
久 成 康 博 (倉敷中央公共職業安定所長)
原 田 孝 作 (日本郵便(株)玉島郵便局長)
森 田 弘 子 (日本年金基金倉敷西年金事務所長)
森 本 久 士 (倉敷市役所玉島支所長)
光 畑 一 良 (岡山県水島港湾事務所長)

4 事 務 局

(1) 事務局の機構

部 署	所 掌 事 務 の 概 要	職員数
事務局長	事務局総括（専務理事兼任）	1 名
総 務 課	総会、庶務、経理、調査、商工会議所業務改革、 会館管理、財務、人事、メールマガジンの配信 共済・保険の取扱、労働保険	5 名
業 務 課	観光振興事業、特定商工業者の管理、検定試験 円通寺休憩舎管理、西爽亭管理	9 名
経営支援課 (中小企業相談所)	経営改善普及事業、中小企業支援、経営安定事業、 経営革新、補助金・助成金支援	4 名
合 計		1 9 名

(2) 事務局職員

区 分	専 任 職 員	経営指導員	補 助 員	記帳指導職員	臨 時 職 員	計
男	1	4	2	0	1	8
女	3	0	1	1	6	1 1
計	4	4	3	1	7	1 9

5 庶 務

(1) 文 書

発信件数 1 0 7 件

受信件数 1 3 0 件

(2) 表彰受賞

表 彰

1) 中国経済産業局長表彰

議 員 原田 猛

2) 日本商工会議所表彰規則に基づく、役員・議員・職員表彰

常議員 根本 一夫 3 0 年

議 員 小野 厚 3 0 年

議 員 野田 慎一 3 0 年

(3) 慶 弔

R 5. 7. 9 常議員 古南 泰信氏のご母堂様 告別式

R 5. 9. 1 0 前議員 西出 勲氏 告別式

6 会 議

(1) 議員総会

第199回通常議員総会

日 時 令和5年6月29日(木) 10時30分～11時30分

場 所 玉島商工会議所 3階会議室

出席者数 59名(内委任状27名)

協議事項

第1号議案 令和4年度事業報告並びに総合収支決算(案)について

第2号議案 玉島商工会議所会費規約(案)について

第3号議案 その他報告事項

①会頭選任に関する内規について

②監事の変更について

③第72回玉島まつりについて

④80周年記念式典について

⑤新倉敷駅前ホテルの誘致について

第200回臨時議員総会

日 時 令和5年12月7日(木) 10時00分～11時00分

場 所 玉島商工会議所 3階会議室

出席者数 58名(内委任状26名)

協議事項

第1号議案 令和5年度収支補正予算(案)について

第2号議案 事業継続力強化支援計画(案)について

第3号議案 その他報告事項

①第9回玉島ハーバーフェステバルについて

②第34回玉島ふれあい物産展について

③会員親睦ゴルフ大会について

④今後の行事について

⑤新倉敷駅前イルミネーションについて

第201回臨時議員総会

日 時 令和6年3月26日(火) 10時00分～11時13分

場 所 玉島商工会議所 3階会議室

出席者数 60名(内委任状39名)

協議事項

第1号議案 令和6年度事業計画書(案)並びに総合収支予算書(案)について

第2号議案 令和6年度における一時借入金限度額(案)について

第3号議案 労働保険事務組合事務処理規約の変更(案)について

第4号議案 常議員の変更について

第5号議案 その他報告事項

①「令和6年能登半島地震」災害義援金について

②玉島商工会議所 会員親睦ゴルフ大会について

③湊たましま大歌声喫茶について

④パラアーチェリー大江佑弥選手パリパラリンピック代表内定について

⑤玉島商工会議所パンフレットリニューアルについて

⑥監事の変更について

(2) 常議員会

第299回常議員会

日 時 令和5年6月15日(木) 10時30分～11時43分

場 所 玉島商工会議所 3階会議室

出席者数 19名(内委任状 9名)

協議事項

第1号議案 令和4年度事業報告並びに総合収支決算書(案)について

第2号議案 玉島商工会議所会費規約(案)について

第3号議案 新規会員の承認(案)について

第4号議案 その他報告事項

①会頭選任に関する内規について

②監事の変更について

③第72回玉島まつりについて

④アクサベストウィズキャンペーン表彰について

⑤新倉敷駅前ホテルの誘致について

⑥80周年記念式典について

⑦おかやまデジタルマネー実証実験について

第300回常議員会

日 時 令和5年11月20日(月) 10時00分～11時17分

場 所 玉島商工会議所 3階会議室

出席者数 18名(内委任状 7名)

第1号議案 令和5年度収支補正予算(案)について

第2号議案 事業継続力強化支援計画(案)について

第3号議案 新規会員(案)の承認について

第4号議案 その他報告事項

①第9回玉島ハーバーフェスティバルについて

②第34回玉島ふれあい物産展について

③会員親睦ゴルフ大会について

④今後の行事について

⑤建設業部会新倉敷駅前ホテルの誘致について

第301回常議員会

日 時 令和6年3月12日(火) 10時00分～11時08分

場 所 玉島商工会議所 3階会議室

出席者数 17名(内委任状 5名)

第1号議案 令和6年度事業計画書並びに総合収支予算書(案)について

第2号議案 令和6年度における一時借入金限度額(案)について

第3号議案 新規会員(案)の承認について

第4号議案 常議員の変更について

第5号議案 その他報告事項

①「令和6年能登半島地震」災害義援金について

②玉島商工会議所会員親睦ゴルフ大会について

③湊たましま大歌声喫茶について

④玉島商工会議所パンフレットのリニューアルについて

(3) 正副会頭会議

第1回正副会頭会議

日 時 令和5年 5月 1日 (月) 11時00分

第2回正副会頭会議

日 時 令和5年 6月15日 (木) 9時00分

第3回正副会頭会議

日 時 令和5年 6月29日 (木) 9時30分

第4回正副会頭会議

日 時 令和5年 7月14日 (金) 13時30分

第5回正副会頭会議

日 時 令和5年 8月21日 (月) 13時30分

第6回正副会頭会議

日 時 令和5年10月24日 (火) 10時00分

第7回正副会頭会議

日 時 令和5年11月 9日 (木) 15時00分

第8回正副会頭会議

日 時 令和5年11月20日 (火) 9時00分

第9回正副会頭会議

日 時 令和5年12月 7日 (木) 9時00分

第10回正副会頭会議

日 時 令和6年 1月17日 (水) 9時00分

第11回正副会頭会議

日 時 令和6年 3月26日 (火) 9時20分

(4) 委員会・部会等

1. 総務・広報委員会

第1回 令和5年 4月 3日 (月) 15時00分

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

議 題 1) 第72回玉島まつりについて

第2回 令和5年 5月12日 (金) 10時30分

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

議 題 1) 令和5年度 玉島まつりの現状報告について

2) 協賛金について

第3回 令和5年 7月 4日 (火) 14時30分

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

議 題 1) 第72回玉島まつりについて

2) 80周年記念式典について

第4回 令和5年 8月31日 (木) 13時30分

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

議 題 1) 令和5年度 玉島まつりについて

2) 優良商工従業員表彰について

3) 玉島商工会議所80周年記念式典について

2. 地域振興委員会

第1回 令和5年 4月27日(木) 10時30分～

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

- 議 題 1) 作陽学園高等学校練習試合宿泊について
2) 新倉敷駅ピアノについて
3) 旧柚木家住宅(西爽亭)施設活用について
4) 第9回玉島ハーバーフェスティバルについて

第2回 令和6年 1月29日(月) 10時30分～

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

- 議 題 1) 第9回玉島ハーバーフェスティバル事業報告書・収支決算書について
2) 令和5年度事業報告・収支決算書について
3) 令和6年度事業計画・収支予算書について
4) 第10回玉島ハーバーフェスティバルについて

3. 環境・エネルギー委員会

第1回 令和5年 6月 7日(水) 14時30分

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

- 議 題 1) 第46回溜川清掃大作戦 結果報告
2) 環境改善普及事業(エコグッズ配布)について

第2回 令和5年 8月29日(火) 14時00分

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

- 議 題 1) 第47回溜川清掃大作戦について
2) 環境改善普及事業(エコグッズ配布)について

第46回溜川清掃大作戦打ち合わせ会議

令和5年 4月 3日(月) 10時30分

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

- 議 題 1) 第46回溜川清掃大作戦について
2) 役割分担について

第47回溜川清掃大作戦打ち合わせ会議

令和5年 9月25日(月) 10時30分

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

- 議 題 1) 第47回溜川清掃大作戦について
2) 役割分担について

第3回 令和6年 1月24日(水) 14時00分

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

- 議 題 1) 令和5年度委員会事業報告・収支決算書
2) 令和6年度委員会事業及び予算について

第48回溜川清掃大作戦打ち合わせ会議

令和6年 3月13日(水) 14時30分

場 所 玉島商工会議所 2階役員室

- 議 題 1) 第48回溜川清掃大作戦について
2) 役割分担について

4. 玉島ふれあい物産展委員会

- 第1回 令和5年 5月26日(金) 13時00分
場 所 玉島商工会議所 2階役員室
議 題 1) 第34回玉島ふれあい物産展開催について
- 第2回 令和5年 8月22日(火) 13時30分
場 所 玉島商工会議所 2階役員室
議 題 1) 第9回玉島ハーバーフェスティバルについて
2) 第34回玉島ふれあい物産展開催について
- 第3回 令和5年 9月27日(水) 14時00分
場 所 玉島商工会議所 2階役員室
議 題 1) 第34回玉島ふれあい物産展について
- 第4回 令和5年11月 1日(水) 14時00分
場 所 玉島商工会議所 2階役員室
議 題 1) 第34回玉島ふれあい物産展について
- 第5回 令和6年 1月25日(木) 13時00分
場 所 玉島商工会議所 2階役員室
議 題 1) 第34回玉島ふれあい物産展について
①事業報告及び収支決算(案)について
②出店者アンケート結果について
2) 令和6年度の委員会事業計画及び収支予算(案)について
- 第6回 令和6年 3月 7日(木) 13時30分
場 所 玉島商工会議所 2階役員室
議 題 1) 第10回玉島ハーバーフェスティバルについて

5. デジタル化推進委員会

- 第1回 令和5年 4月11日(火) 15時00分
場 所 玉島商工会議所 3階会議室
議 題 1) 今後の委員会活動について
2) 自社で役立つIT・DXツールの紹介
- 第2回 令和5年 6月22日(木) 15時00分
場 所 玉島商工会議所 3階会議室
議 題 1) 株式会社ワークスマイルラボへの視察について
勉強会「小さな改善で大きく変える! ICT技術を活用した生産性向上への実践セミナー」(下記、事業活動に詳細)
- 第3回 令和5年 7月 7日(金) 13時30分
株式会社ワークスマイルラボ オフィス視察(岡山市南区福浜町15-10)
(下記、事業活動に詳細)
- 第4回 令和5年11月 1日(水) 15時00分
場 所 玉島商工会議所 3階会議室
議 題 1) ワークスマイルラボ事務所見学について報告
2) 商工会議所2階事務所の整理整頓について報告
3) ペーパーレス化について

第5回 令和6年 2月 2日(金) 10時00分
場 所 玉島商工会議所 3階会議室
議 題 1) 令和6年度の委員会予算、及び令和6年度の委員会活動
(取り組みたいこと)について
2) 常議員会・総会のペーパーレス化について

第6回 令和6年 3月13日(水) 10時00分
場 所 玉島商工会議所 2階会議室
議 題 1) 会議所職員によるレイテクソリューションズの研修受講
について
2) 今後の委員会活動について

6. 玉島長期ビジョン委員会

第1回 令和5年12月 4日(月) 14時00分
場 所 玉島商工会議所 3階役員室
議 題 1) ホテル誘致について
2) E地区・ハーバーアイランド企業との連携について
3) その他

第2回 令和6年 1月23日(火) 14時00分～
場 所 玉島商工会議所 2階役員室
議 題 1) 令和6年度の滑動・予算について
2) その他

7. 玉島まつり実行委員会

令和5年 4月14日(金) 10時30分
場 所 玉島商工会議所 3階会議室
議 題 1) 第71回玉島まつり事業報告・収支決算(案)について
2) 第72回玉島まつり事業計画・収支予算(案)について

令和5年 7月21日(金) 13時00分
場 所 玉島商工会議所 3階会議室
議 題 1) 第72回玉島まつり事業状況の報告及び補正予算(案)
について

8. 建設業部会

第1回 令和5年11月13日(月) 15時00分
場 所 玉島商工会議所 2階役員室
議 題 1) ホテル誘致について
2) その他

9. サービス業部会

第1回 令和5年 7月25日(火) 15時00分
場 所 玉島商工会議所 2階役員室
議 題 1) 部会長・副部会長の選任について
2) その他

10. 特別顧問会議

第1回 令和5年 6月12日(月) 11時00分
場 所 玉島商工会議所 2階役員室
議 題 1) 新倉敷駅周辺ホテル誘致について

第2回 令和6年 2月27日(火) 11時00分
 場 所 玉島商工会議所 2階役員室
 議 題 1) 令和6年度収支予算(案)について

(5) 県内等主要会議

4月 4日(火)	岡山県商工会議所連合会 運営委員会	(専務)
4月 6日(木)	令和5年度新規学校卒業就職者歓迎大会	(会頭)
4月 7日(金)	5商工団体協議会	(専務)
4月17日(月)	作陽学園高等学校開校式	(会頭)
4月21日(金)	G7倉敷労働雇用大臣会合地元主催歓迎レセプション	(会頭)
4月21日(金)	沙美海水浴場運営委員会	(専務)
4月26日(水)	倉敷未来プロジェクト実行委員会	(専務)
5月 7日(日)	岡山県良寛会総会	(会頭)
5月 9日(火)	岡山県商工会議所連合会 運営委員会	(専務)
5月16日(火)	文化のかおるまち玉島実行委員会総会	(会頭・専務)
5月18日(木)	～19日(金) 日本商工会議所全国専務理事会議	(専務)
5月19日(金)	玉島法人会理事会	(会頭)
5月22日(月)	岡山県共済協同組合理事会	(専務)
5月26日(金)	岡山県立大学開学30周年記念式典	(会頭・副会頭)
5月27日(土)	新倉敷ライオンズクラブ認証10周年記念式典	(会頭)
5月29日(月)	高梁川流域経済成長戦略会議	(副会頭)
5月30日(火)	倉敷まちづくり推進協議会	(専務)
5月31日(水)	中国地方商工会議所連合会監事会	(専務)
6月 1日(木)	倉敷租税推進協議会	(会頭)
6月 2日(金)	県連通常総会正副会頭会議	(会頭・副会頭)
6月 5日(月)	岡山県警察友の会理事会・総会・懇親会	(会頭)
6月 6日(火)	倉敷観光コンベンションビューロー理事会	(専務)
6月 7日(水)	倉敷市国際交流協会理事会・総会・講演会	(会頭)
6月12日(月)	水島港インターナショナルトレード協議会総会	(副会頭)
6月16日(金)	TAMA国際化対策連絡協議会	(会頭)
6月16日(金)	岡山県共済協同組合通常総代会及び理事会	(専務)
6月16日(金)	玉島法人会定時総会	(専務)
6月20日(火)	日本電信電話ユーザ協会総会	(専務)
6月22日(木)	倉敷市商店街連合会総会	(会頭・専務)
6月24日(土)	玉島テレビ放送(株)定時総会	(専務)
6月28日(水)	倉敷市コンベンションビューロー定時総会	(専務)
7月 3日(月)	沙美海水浴場開き	(専務)
7月 4日(火)	岡山県商工会議所連合会運営委員会	(専務)
7月 5日(水)	北前船寄港地フォーラムinOKAYAMA実行委員会	(会頭)
7月24日(月)	玉島税務協力会総会	(正副会頭・専務)
8月20日(日)	「倉敷三斎市」復活祭セレモニー	(会頭)
9月 9日(土)	倉敷国際トライアスロン大会開会式	(副会頭)
9月23日(土)	作陽学園高等学校柔道部祝賀会	(会頭)
9月24日(日)	80周年モニュメント除幕式	(副会頭・専務)
10月 3日(火)	岡山県商工会議所連合会運営委員会	(専務)
10月 5日(木)	北前船寄港地フォーラム&地域連携研究所大会	
6日(金)		(正副会頭)
10月18日(水)	倉敷市観光振興プログラム推進委員会	(専務)
10月31日(火)	高梁川流域経済成長戦略会議	(専務)
11月 4日(土)	法政大学全国卒業生の集い倉敷大会	(会頭)

1 1 月 6 日 (月)	倉敷老舗感謝状授与式	(副会頭)
1 1 月 7 日 (火)	岡山県商工会議所連合会運営委員会	(専務)
1 1 月 7 日 (火)	岡山県共済協同組合理事会	(専務)
1 1 月 2 8 日 (火)	中国地方商工会議所専務理事会	(専務)
1 2 月 5 日 (火)	岡山県商工会議所連合会運営委員会	(専務)
1 2 月 1 5 日 (金)	玉島法人会理事会	(専務)
1 2 月 1 6 日 (土)	玉島ライオンズクラブ年末家族例会	(会頭)
1 2 月 2 3 日 (土)	倉敷西ライオンズクラブクリスマス家族例会	(会頭)
1 月 9 日 (火)	岡山県商工会議所連合会運営委員会	(専務)
1 月 1 0 日 (水)	玉島青年会議所新春会	(会頭)
1 月 1 1 日 (木)	倉敷市商店街連合会新年互例会	(会頭・専務)
1 月 1 5 日 (月)	倉敷未来プロジェクト実行委員会	(専務)
1 月 2 5 日 (木)	高梁川流域連携中枢都市圏ビジョン懇親会	(副会頭)
1 月 2 6 日 (金)	プロ野球キャンプ誘致支援連絡会	(専務)
2 月 2 日 (金)	倉敷未来プロジェクト実行委員会表彰式	(専務)
2 月 6 日 (月)	岡山県商工会議所連合会運営委員会	(専務)
2 月 7 日 (水)	中国地方商工会議所連合会事務局長会議	(専務)
2 月 1 1 日 (日)	聖良寛奉賛会表彰式	(会頭)
2 月 1 8 日 (日)	良寛椿の会表彰式	(会頭)
2 月 2 3 日 (金)	中国職業能力開発大学校 4 0 周年記念式典	(会頭)
2 月 2 7 日 (火)	岡山県独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構運営協議会中国能開大部会	(専務)
3 月 5 日 (火)	玉島法人会理事会	(専務)
3 月 1 5 日 (金)	岡山県下商工会議所正副会頭会議	(正副会頭・専務)
3 月 1 9 日 (金)	倉敷観光コンベンションビューロー理事会	(専務)
3 月 2 2 日 (金)	中国職業能力開発大学校修了式	(会頭)
3 月 2 6 日 (火)	「にぎわう昭和の街たましま」総会	(専務)
3 月 3 1 日 (日)	倉敷西ライオンズクラブ認証 4 5 周年記念式典	(会頭)

7 登 録

(1) 法 定 台 帳

会議所法に基づいて、特定商工業者（資本金額 3 0 0 万円以上、または従業員数 2 0 人以上（商業、サービス業は 5 人以上）の法人商工業者）の登録制度を実施している。

この制度により、特定商工業者に該当する事業から事業の実態、営業内容などを法定台帳として登録、管理運営している。

1. 法定台帳

- a 作成（訂正）着手年月日 令和 5 年 4 月 1 日
完成年月日 令和 5 年 9 月 3 0 日

- b 登録業者数 5 2 1 名

c 運用の概要

特定商工業者から提出された法定台帳は、地域的業種別に区分整理し保管に務め商取引の紹介、斡旋証明その他商工業の実態調査の基礎資料として有効適切に利用している。

(2) 任 意 台 帳

この項該当なし

8 会館・事務所等

(1) 土地

・建物の概要

建築場所 倉敷市玉島中央町2丁目3-12
敷地面積 611.52㎡
建築面積 276.35㎡
延床面積 761.12㎡
高さ 最高14.9m

(2) 建物

構造 鉄筋コンクリート3階建
外装 銅板レンガ貼・アルミサッシ

・設備の概要

電気設備

各室の照明は蛍光灯を使用し、平均照度700ルクスです。

空調設備

冷暖房は1階・2階が天吊形、3階は床置形を設置しています。

昇降機設備

給排水衛生設備・ガス設備・非常警報設備・防火戸設備の設備が完備しています。

・用途

- 1 階 外部団体事務局
- 2 階 商工会議所事務局・役員室・応接室
- 3 階 会議室

9 関係団体への加入および連繋

- (1) 日本商工会議所（会員）
- (2) 中国地方商工会議所連合会（会員）
- (3) (一社)岡山県商工会議所連合会（会員）

10 外郭団体一覧

- (1) 玉島納税貯蓄組合連合会
- (2) 玉島間税会
- (3) 玉島税務協力会
- (4) 玉島商店街振興会
- (5) 玉島珠算振興会
- (6) 玉島まつり実行委員会
- (7) 玉島ハーバーフェスティバル実行委員会
- (8) 玉島港湾協会
- (9) 音楽溢れる街たしま実行委員会
- (10) 新倉敷駅ピアノ実行委員会

令和5年度 玉島商工会議所 総合収支決算書

2024.6.25

令和5年度 玉島商工会議所 総合収支決算書（案）

1. 令和5年度	決算総括表	1
2. 令和5年度	総合収支決算総括	2
3. 令和5年度	一般会計収支決算書	3
4. 令和5年度	中小企業相談所特別会計収支決算書	8
5. 令和5年度	法定台帳関係費特別会計収支決算書	11
6. 令和5年度	特定退職金共済特別会計収支決算書	13
7. 令和5年度	会員事業所共済特別会計収支決算書	15
8. 令和5年度	労働保険事務組合特別会計収支決算書	17
9. 令和5年度	旧柚木家住宅管理特別会計収支決算書	19
10. 令和5年度	総合貸借対照表	21
11. 令和5年度	財産目録	22
12. 令和5年度	固定財産明細表	23
13. 令和5年度	決算書類に対する注記	24

1.令和 5 年度 決算 総括 表

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 3 1 日

(単 位 円)

会 計 別	繰越額(+)	収入(+)	支出(-)	収支残高	繰入額(+)	繰出額(-)	差引残高	備考
一 般 会 計	12,988,062	50,929,896	51,535,025	12,382,933	7,461,249	3,847,868	15,996,314	中小企業に繰出
中小企業相談所特別会計	0	35,239,438	39,087,306	△ 3,847,868	3,847,868	0	0	
法定台帳関係費特別会計	0	898,002	898,002	0	0	0	0	
特定退職金共済特別会計	0	3,371,827	3,371,827	0	0	0	0	
会員事業所共済特別会計	0	11,449,570	5,313,756	6,135,814	0	6,135,814	0	一般に繰出
労働保険事務組合特別会計	0	7,505,315	6,179,880	1,325,435	0	1,325,435	0	一般に繰出
旧柚木家住宅管理特別会計	481,402	2,117,362	2,311,830	286,934	0	0	286,934	
合 計	13,469,464	111,511,410	108,697,626	16,283,248	11,309,117	11,309,117	16,283,248	

2. 令和5年度 総合収支決算総括

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

【収入の部】

(単位 円)

	一般会計	中小企業 相談所	法定台帳 関係費	特定退職金 共済	会員事業所 共済	労働保険 事務組合	旧柚木家 住宅管理	
会費、負担金	20,925,000		898,000					21,823,000
手数料				3,371,800	11,449,438	4,589,433		19,410,671
事業収入	22,714,673						206,360	22,921,033
事務分担金	750,993							750,993
雑収入	3,253,930	104,059	2	27	132	82	2	3,358,234
交付金、補助金	3,285,300	35,135,379				2,915,800	1,911,000	43,247,479
繰入金	7,461,249	3,847,868						11,309,117
前年度繰越金	12,988,062						481,402	13,469,464
合 計	71,379,207	39,087,306	898,002	3,371,827	11,449,570	7,505,315	2,598,764	136,289,991

【支出の部】

	一般会計	中小企業 相談所	法定台帳 関係費	特定退職金 共済	会員事業所 共済	労働保険 事務組合	旧柚木家 住宅管理	
事業費	26,624,994	533,620	97,086	34,884	605,000		45,560	27,941,144
管理費 人件費	9,327,788	38,273,101	752,805	3,037,118	3,426,233	4,967,391	2,050,860	61,835,296
旅費交通費	211,851					7,470		219,321
事務費	4,793,278	244,685	33,404	258,245	1,261,073	1,002,875	160,043	7,753,603
会議費	385,223					1,000		386,223
渉外費	681,837							681,837
分担金	1,555,982							1,555,982
その他	4,079,501							4,079,501
繰出金	3,847,868				6,135,814	1,325,435		11,309,117
雑 費	2,017,771	35,900	14,707	41,580	21,450	201,144	55,367	2,387,919
地代家賃	852,000							852,000
租税公課	1,004,800							1,004,800
次年度繰越金	15,996,314						286,934	16,283,248
合 計	71,379,207	39,087,306	898,002	3,371,827	11,449,570	7,505,315	2,598,764	136,289,991

3.令和5年度 一般会計収支決算書

収入の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1 . 会 費		20,925,000	20,292,000	633,000	
	1 . 会 費	20,642,000	20,000,000	642,000	会員・特別会員854事業所
	2 . 過 年 度 会 費	42,000	42,000	0	前年度会費4事業所
	3 . 特 別 会 費	241,000	250,000	△ 9,000	互礼会、議員懇親会会費
2 . 事 業 収 入		22,714,673	20,983,383	1,731,290	
	1 . 手 数 料	2,427,252	2,000,000	427,252	損保手数料、火災共済手数料等
	2 . 使 用 料	2,281,385	2,300,000	△ 18,615	家賃収入、会場使用料等
	3 . 検 定 料	354,860	300,000	54,860	簿記、珠算検定料
	4 . 青 年 部 収 入	14,203,008	13,459,383	743,625	青年部収入（活動費補助除く）
	5 . 女 性 会 収 入	3,448,168	2,924,000	524,168	女性会収入（活動費補助除く）
3 . 事 務 分 担 金		750,993	550,000	200,993	
	1 . 事 務 分 担 金	750,993	550,000	200,993	玉島港湾協会他6団体分担金
4 . 雑 収 入		3,253,930	3,860,200	△ 606,270	
	1 . 預 金 利 息	249	200	49	預金利息
	2 . 雑 収 入	3,253,681	3,860,000	△ 606,319	物産展関係収入、ゴルフ参加料、優良表彰負担金等
5 . 交 付 金		3,285,300	2,760,000	525,300	
	1 . 国 補 助 金	1,301,300	800,000	501,300	IT導入補助金、伴走型補助金等
	2 . 県・市 補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	商業活性化イベント補助金（物産展）等
	3 . 市 交 付 金	984,000	960,000	24,000	円通寺公園休憩所管理料

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
6 . 繰 入 金		7,461,249	5,700,000	1,761,249	
	1 . 特別会計繰入金	7,461,249	5,700,000	1,761,249	共済、労働保険会計より繰入（特退繰入不可）
7 . 繰 越 金		12,988,062	12,988,062	0	
	1 . 繰 越 金	12,988,062	12,988,062	0	前年度繰越金
合 計		71,379,207	67,133,645	4,245,562	

支出の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 事業費		26,624,994	31,764,383	△ 5,139,389	
	1. 商業振興費	1,162,798	1,200,000	△ 37,202	商業振興指導費（セミナー、TIM関連、経営支援システム）
	2. 工業振興費	128,091	200,000	△ 71,909	工業振興指導費等（セミナー、個社支援）等
	3. 観光振興費	548,020	1,500,000	△ 951,980	産業観光ツアー負担金、円通寺ライトアップ、発泡酒作成費等
	4. 商工技術振興費	1,095,296	1,100,000	△ 4,704	各種検定、技術普及に関する事業費等
	5. 調査広報費	382,150	600,000	△ 217,850	ベッキオバンビーノ等広告協賛
	6. 事業諸費	2,227,880	2,200,000	27,880	優良商工従業員表彰関連費、システム利用料、議員懇親会費用等
	7. 青年部・女性会活動推進費	0	1,000,000	△ 1,000,000	青年部、女性会活動費（収入と相殺）
	8. 青年部活動費	10,890,834	12,959,383	△ 2,068,549	青年部事業費
	9. 女性会活動費	2,809,308	2,305,000	504,308	女性会事業費
	10. 委員会等活動費	1,241,441	2,100,000	△ 858,559	環境・IT・総務委員会、親睦ゴルフ実行委員会費
	11. 物産展開催費	3,635,703	4,000,000	△ 364,297	物産展開催費
	12. まつり・花火	200,000	300,000	△ 100,000	まつり開催負担金
	13. ハーバーフェスティバル負担金	1,300,000	1,300,000	0	ハーバーフェスティバル負担金
	14. 80周年記念事業	1,003,473	1,000,000	3,473	80周年記念事業積立等
2. 管理費		21,035,460	23,860,000	△ 2,824,540	
	1. 給与費	7,637,981	8,450,000	△ 812,019	給与費
	(1) 俸給	6,737,981	7,500,000	△ 762,019	職員3名（円通寺休憩所含む）
	(2) 諸給	600,000	600,000	0	〃 役職手当等
	(3) 手当	300,000	350,000	△ 50,000	〃 諸手当等

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
	2. 福 利 厚 生 費	1,689,807	1,200,000	489,807	
	(1) 社 会 保 険 料	1,393,728	1,100,000	293,728	社会保険料
	(2) 福 利 厚 生 費	296,079	100,000	196,079	職員福利厚生費
	3. 旅 費 交 通 費	211,851	240,000	△ 28,149	出張旅費等
	4. 事 務 費	4,793,278	7,210,000	△ 2,416,722	
	(1) 通 信 運 搬 費	977,619	1,700,000	△ 722,381	(共通) 電話使用料・郵便料等
	(2) 備 品 費	1,487,959	1,500,000	△ 12,041	人事システム、PC等
	(3) 消 耗 品 費	376,318	600,000	△ 223,682	(共通) ガソリン、コピー用紙等購入費
	(4) 図 書 費	148,640	100,000	48,640	新聞、経済誌等購入費
	(5) 印 刷 費	473,447	670,000	△ 196,553	(共通) 各種印刷物
	(6) 水 道 光 熱 費	842,926	1,300,000	△ 457,074	(共通) 水道・ガス・電気代
	(7) 修 繕 費	276,239	700,000	△ 423,761	配線工事、各種修繕費
	(8) 事 務 諸 費	166,830	540,000	△ 373,170	事務用品費
	(9) 研 修 費	43,300	100,000	△ 56,700	職員研修費
	5. 会 議 費	385,223	400,000	△ 14,777	諸会議、互礼会等諸会議費
	6. 渉 外 費	681,837	600,000	81,837	新年議員懇親会、来客接待費、慶弔費
	7. 分 担 金	1,555,982	1,500,000	55,982	日商・県連等会費
	8. 其 他 管 理 費	929,501	1,260,000	△ 330,499	
	(1) 会 館 管 理 費	491,361	760,000	△ 268,639	浄化槽管理、電気保安協会、清掃等費用
	(2) 保 険 料	438,140	500,000	△ 61,860	建物火災・自動車保険料
	9. 財政調整基金支出	3,000,000	3,000,000	0	財政調整基金の積立
	10. 寄 附 金	150,000	0	150,000	年能登半島地震義援金、作陽学園90周年

款	款	R6予算	R5補正予算額	増減	備考
3. 繰 出 金		3,847,868	5,200,000	△ 1,352,132	
	1. 特別会計繰出金	3,847,868	5,200,000	△ 1,352,132	中小企業相談所特別会計負担
4. 雑 費		2,017,771	1,600,000	417,771	
	1. 其 他 雑 費	2,017,771	1,600,000	417,771	振込手数料、業務委託費等
5. 地 代 家 賃		852,000	900,000	△ 48,000	
	1. 地 代 家 賃	852,000	900,000	△ 48,000	駐車場、倉庫使用料等
6. 租 税 公 課		1,004,800	1,120,000	△ 115,200	
	1. 消 費 税	1,004,800	1,120,000	△ 115,200	消費税支払等
7. 予 備 費		0	2,689,262	△ 2,689,262	
	1. 予 備 費	0	2,689,262	△ 2,689,262	
8. 次 年 度 繰 越		15,996,314	0	15,996,314	
	1. 次 年 度 繰 越 金	15,996,314	0	15,996,314	青年部381万2174円、女性会113万8860円含む
合 計		71,379,207	67,133,645	4,245,562	

令和5年度 中小企業相談所特別会計収支決算書

収入の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 補助金		31,335,379	30,489,550	845,829	
	1. 小規模事業指導費補助金	24,455,481	23,439,550	1,015,931	岡山県小規模指導費補助金
	2. 小規模事業指導費補助金 DX	1,629,437	1,750,000	△ 120,563	小規模指導費補助金・DX推進事業補助8月～
	3. 県連補助金	5,250,461	5,300,000	△ 49,539	岡山県連広域サポーター補助金
2. 交付金		3,800,000	3,800,000	0	
	1. 市補助金	3,800,000	3,800,000	0	倉敷市補助金
3. 一般会計繰入金		3,847,868	5,200,000	△ 1,352,132	
	1. 一般会計繰入金	3,847,868	5,200,000	△ 1,352,132	一般会計繰入金
4. 雑収入		104,059	100,000	4,059	
	1. 雑収入	104,059	100,000	4,059	セミナー受講料他
合 計		39,087,306	39,589,550	△ 502,244	

支出の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 人 件 費		34,560,185	35,090,000	△ 529,815	
	1. 俸 給	21,213,950	21,300,000	△ 86,050	広域サポーター1名・指導員3名・補助員2名・DX職員1名
	2. 扶 養 手 当	637,500	630,000	7,500	〃
	3. 通 勤 手 当	395,350	400,000	△ 4,650	〃
	4. 期 末 手 当	7,118,032	7,300,000	△ 181,968	〃
	5. 住 居 手 当	375,500	460,000	△ 84,500	職員5名分
	6. 福 利 厚 生 費	4,819,853	5,000,000	△ 180,147	広域サポーター1名・指導員3名・補助員2名・DX職員1名
2. 事 務 費		244,685	250,000	△ 5,315	
	1. 指 導 事 務 費	244,685	250,000	△ 5,315	広報費・郵送費等
3. 指 導 事 業 費		1,536,760	1,580,000	△ 43,240	
	1. 講 習 会 開 催 費	263,245	300,000	△ 36,755	新入社員研修、セミナー謝金他
	2. 金 融 指 導 費	73,515	80,000	△ 6,485	マル経審査会開催費
	3. 記 帳 指 導 職 員 指 導 手 当	1,200,000	1,200,000	0	記帳指導職員手当等

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
5. 研 修 事 業 費		196,860	190,000	6,860	
	1. 研 修 事 業 費	196,860	190,000	6,860	職員研修
6. 福 利 環 境 整 備 費		2,040,637	1,900,000	140,637	
	1. 福 利 環 境 整 備 費	2,040,637	1,900,000	140,637	退職金共済積立金
7. 超 過 勤 務 手 当		472,279	350,000	122,279	
	1. 超 過 勤 務 手 当	472,279	350,000	122,279	広域サポーター1名・指導員3名・補助員2名
8. 雑 費		35,900	100,000	△ 64,100	
	1. 雑 費	35,900	100,000	△ 64,100	振込手数料・補助対象外旅費等
9. 予 備 費		0	129,550	△ 129,550	
	1. 予 備 費	0	129,550	△ 129,550	
合 計		39,087,306	39,589,550	△ 502,244	

5.令和 5 年度 法定台帳関係費特別会計収支決算書

収入の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 負 担 金		898,000	880,000	18,000	
	1. 負 担 金	898,000	880,000	18,000	特商負担金449件
2. 雑 収 入		2	100	△ 98	
	1. 雑 収 入	2	100	△ 98	預金利息
合 計		898,002	880,100	17,902	

支出の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 給 与 費		702,449	581,000	121,449	
	1. 俸 給	573,735	420,000	153,735	兼任職員給与一部負担
	2. 諸 給	31,251	21,000	10,251	〃 諸手当一部負担
	3. 賞 与	97,463	140,000	△ 42,537	〃 賞与一部負担
2. 事 務 費		33,404	35,000	△ 1,596	
	1. 施 設 管 理 費	23,094	20,000	3,094	(共通) 水道・ガス・電気代
	2. 消 耗 品 費	10,310	15,000	△ 4,690	(共通) 消耗品購入費等
3. 事 業 費		97,086	141,000	△ 43,914	
	1. 印 刷 費	29,470	30,000	△ 530	(共通) 各種印刷物
	2. 通 信 費	67,616	110,000	△ 42,384	(共通) 電話使用料・郵便料等
	3. 旅 費 交 通 費	0	1,000	△ 1,000	出張旅費
4. 福利厚生費		50,356	110,000	△ 59,644	
	1. 福 利 厚 生 費	50,356	110,000	△ 59,644	兼任職員社会保険料等
5. 雑 費		14,707	13,100	1,607	
	1. 雑 費	14,707	13,100	1,607	口座振替手数料、残高証明手数料
合 計		898,002	880,100	17,902	

6.令和5年度 特定退職金共済特別会計収支決算書

収入の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 事務費収入		3,371,800	3,400,000	△ 28,200	
	1. 事務費収入	3,371,800	3,400,000	△ 28,200	退職金共済取扱手数料 (67,436口)
2. 雑収入		27	100	△ 73	
	1. 雑収入	27	100	△ 73	預金利息
合 計		3,371,827	3,400,100	△ 28,273	

支出の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 事業費		34,884	50,000	△ 15,116	
	1. 募集推進費	34,884	50,000	△ 15,116	新規加入促進広告費等
2. 管理費		3,336,943	1,724,000	1,612,943	
	1. 給与費	2,833,964	1,300,000	1,533,964	兼任職員3名 給与費一部負担
	2. 福利厚生費	203,154	180,000	23,154	〃 社会保険料等一部負担
	3. 事務費	299,825	244,000	55,825	
	(1)通信運搬費	48,580	26,000	22,580	(共通) 電話使用料・郵便料等
	(2)印刷費	48,702	40,000	8,702	(共通) 各種印刷物
	(3)消耗品費	38,711	27,000	11,711	(共通) 消耗品購入費等
	(4)支払手数料	660	1,000	△ 340	残高証明手数料
	(5)水道光熱費	86,708	70,000	16,708	(共通) 水道・ガス・電気代
	(6)雑費	41,580	50,000	△ 8,420	振込手数料等
	(7)リース料	34,884	30,000	4,884	(共通) リース料等
3. 繰出金		0	1,500,000	△ 1,500,000	
	1. 繰出金	0	1,500,000	△ 1,500,000	一般会計に繰出金
4. 予備費		0	126,100	△ 126,100	
	1. 予備費		126,100	△ 126,100	
合	計	3,371,827	3,400,100	△ 28,273	

7.令和5年度 会員事業所共済特別会計収支決算書

収入の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 運営事務費		11,449,438	11,730,000	△ 280,562	
	1. 福祉ﾌﾟﾗﾝ共済	28,000	30,000	△ 2,000	共済取扱手数料
	2. 玉島りょうかん共済	6,786,628	6,900,000	△ 113,372	〃
	3. 其 他 共 済	4,634,810	4,800,000	△ 165,190	〃
2. 雑 収 入		132	20,000	△ 19,868	
	1. 雑 収 入	132	20,000	△ 19,868	預金利息等
合 計		11,449,570	11,750,000	△ 300,430	

支出の部

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 事業費		605,000	640,000	△ 35,000	
	1. 募集推進費	55,000	50,000	5,000	共済加入者記念品費等
	2. 広報費	50,000	50,000	0	広報資料作成費負担
	3. 祝金・見舞金	500,000	540,000	△ 40,000	各種お祝い、病氣入院、傷害通院特別見舞金
2. 管理費		4,708,756	6,526,000	△ 1,817,244	
	1. 給与費	2,347,141	4,500,000	△ 2,152,859	兼任職員4名 給与
	2. 福利厚生費	1,079,092	600,000	479,092	〃 社会保険料等
	3. 事務費	1,282,523	1,426,000	△ 143,477	
	(1) 通信費	510,268	490,000	20,268	(共通) 電話使用料・郵便料等
	(2) 印刷費	165,374	300,000	△ 134,626	(共通) 各種印刷物
	(3) 消耗品費	131,448	190,000	△ 58,552	(共通) 消耗品購入費等
	(4) 支払手数料	88,550	130,000	△ 41,450	口座振替手数料等
	(5) 水道光熱費	294,433	230,000	64,433	(共通) 水道・ガス・電気代
	(6) 雑費	21,450	15,000	6,450	振込手数料等
	(7) 公税公課	71,000	71,000	0	法人税等
3. 繰出金		6,135,814	4,000,000	2,135,814	
	1. 繰出金	6,135,814	4,000,000	2,135,814	一般会計に繰出金
4. 予備費		0	584,000	△ 584,000	
	1. 予備費	0	584,000	△ 584,000	
合 計		11,449,570	11,750,000	△ 300,430	

8.令和5年度 労働保険事務組合特別会計収支決算書

収入の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 手数料収入		7,505,233	6,740,000	765,233	
	1. 取扱手数料	4,475,473	3,900,000	575,473	労働保険事務取扱手数料 (315件)
	2. 報奨金	2,915,800	2,800,000	115,800	岡山県報奨金
	3. 県助成金	113,960	40,000	73,960	零細企業福祉助成金
2. 雑収入		82	100	△ 18	
	1. 雑収入	82	100	△ 18	預金利息
合 計		7,505,315	6,740,100	765,215	

支出の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 事業費		6,179,880	6,381,000	△ 201,120	
	1. 給与費	3,861,430	3,800,000	61,430	兼任職員 給与
	2. 福利厚生費	1,105,961	1,200,000	△ 94,039	〃 社会保険料等
	3. 教育研修費	0	10,000	△ 10,000	研修参加費等
	4. 事務費	1,212,489	1,371,000	△ 158,511	
	(1) 会議費	1,000	1,000	0	会議費
	(2) 印刷費	108,404	150,000	△ 41,596	(共通) 各種印刷物
	(3) 旅費交通費	7,470	10,000	△ 2,530	職員出張旅費
	(4) 通信費	418,726	380,000	38,726	(共通) 電話使用料・郵便料等
	(5) 消耗品費	86,165	150,000	△ 63,835	(共通) 消耗品購入費等
	(6) 事務用品費	13,068	30,000	△ 16,932	事務用品代
	(7) 新聞図書費	7,581	15,000	△ 7,419	労務管理冊子等
	(8) 負担金	55,000	55,000	0	労保連会費等
	(9) 事務委託費	208,331	170,000	38,331	総コン委託費等
	(10) 渉外費	0	10,000	△ 10,000	交際接待費
	(11) ハ°ソコン管理費	105,600	200,000	△ 94,400	パソコン保守料等
	(12) 雑費	201,144	200,000	1,144	(共通) 水道・ガス・電気代、振込手数料他
2. 繰出金		1,325,435	200,000	1,125,435	
	1. 繰出金	1,325,435	200,000	1,125,435	一般会計に繰出金
3. 予備費		0	159,100	△ 159,100	
	1. 予備費	0	159,100	△ 159,100	
合 計		7,505,315	6,740,100	765,215	

9.令和5年度 旧柚木家住宅管理特別会計収支決算書

収入の部

(単位 円)

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 交 付 金		1,911,000	1,911,000	0	
	1. 市 補 助 金	1,911,000	1,911,000	0	倉敷市補助金
2. 使 用 料		206,360	180,000	26,360	
	1. 使 用 料	206,360	180,000	26,360	会議室利用料
3. 雑 収 入		2	100	△ 98	
	1. 雑 収 入	2	100	△ 98	預金利息
4. 繰 越 金		481,402	481,402	0	
	1. 繰 越 金	481,402	481,402	0	前年度繰越金
合 計		2,598,764	2,572,502	26,262	

支出の部

款	項	R5決算	R5補正予算額	増減	備考
1. 事業費		2,311,830	2,241,000	70,830	
	1. 人件費	2,050,860	2,000,000	50,860	管理人4名
	2. 委託費	30,000	30,000	0	イベント事業等委託
	3. 事業費	45,560	41,000	4,560	各種事業他
	4. 事務費	10,000	10,000	0	事務負担
	5. 修繕費	102,294	110,000	△ 7,706	清掃等
	6. 保険料	17,749	20,000	△ 2,251	損害賠償保険
	7. 雑費	55,367	30,000	25,367	振込手数料等
2. 予備費		0	331,502	△ 331,502	
	1. 予備費	0	331,502	△ 331,502	
3. 次年度繰越		286,934	0	286,934	
	1. 次年度繰越金	286,934	0	286,934	
合 計		2,598,764	2,572,502	26,262	